

1. 件名:「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-103)、
廃棄物管理施設(78)、MOX燃料加工施設(2-63))」

2. 日時:令和5年10月4日(水) 10時00分~12時00分
15時00分~16時45分

3. 場所:原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、山口係員、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX設工認総括副責任者 他6名

東電設計株式会社 土木部 耐震技術部 担当職

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年10月3日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

・次回審査会合における設工認の対応状況に関する説明

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

・設工認申請の対応状況のうち耐震については、前回審査会合で説明した中央地盤よりも検討に時間を要した東側地盤について、中央地盤と異なっている事項とそれに対する検討の技術的な妥当性を、検討内容を示す図を拡充して説明する。

・設工認申請の対応状況のうち構造設計等については、説明する範囲など全体像を整理して進捗状況を説明する。再処理施設及び廃棄物管理施設の申請対象設備の類型等については、説明する単位毎に対象設備に対する説明内容が明確になるよう整理して説明する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年

2月28日)

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年10月3日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	こちらはしました。
0:00:04	規制庁の竹田です。それではただいまから日本原燃との飛躍を開始します。
0:00:09	そのヒアリングが、Dは来年の12月に申請があった節、再処理及び廃棄物管理、また、令和5年に申請があった。
0:00:21	MOX燃料加工施設の設工認の
0:00:25	別紙資料先生について、10月3日提出の資料をもとに技術確認を行うものになります。
0:00:33	まず規制庁側の出席者を紹介します。ここは出席者の紹介をお願いします。
0:00:42	町側からは、カミデハバサキアライヤマグチオノヨコヤマが出席となります。
0:00:53	規制庁竹田です。続いてWEBからの参加が、
0:00:57	コサクオオハシキシノフジワラほかタケダ医療になります。
0:01:05	それでは日本原燃の方から出席者の紹介と、
0:01:10	リズムヒアリングでの説明範囲、達成目標について説明をお願いいたします。
0:01:16	はい。日本原燃事務局の秋山でございます。
0:01:20	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:24	Steeringチームより、
0:01:26	ケットク、
0:01:27	ハセガワ、
0:01:28	ノモトイシハラ。
0:01:31	あと六ヶ所より、
0:01:32	Steeringチームのイングロタカヤ。
0:01:35	MOX及び再処理の事務局参加させていただいてございます。
0:01:41	本日ご確認いただきます資料でございますけども、昨日、ご提出差し上げました、審査会合資料となります。
0:01:49	それでは説明の方開始させていただきます。
0:01:54	はい、南西原でございますそれでは昨日提出させていただきました審査会合資料の案でございます。
0:02:04	表紙をめくっていただきまして右下2ページに全体の項目書いてございます。1ポツ2ポツで分けております。

0:02:14	先ほどお話あった通り 2 ポツから説明をさせていただきます。通しページ 20 ページからが、2 ポツの
0:02:24	あれだな。構造設計ってタイトルはないと駄目だ。はい。についてでございます。
0:02:29	で、21 ページ見ていただきますと 21 ページ、再掲であることをもうちょっとちゃんと書きますが上の枠四角で囲ってあるものが、
0:02:39	前回の審査会合 9 月 4 日に今後の対応としてご説明した内容になります。このうち、最初の矢羽根が、今回の一つ目の説明内容、二つ目の矢羽根のうち、
0:02:52	説明グループの整理を行いというところまでが今回の二つ目の案件でございます。
0:02:58	21 ページの下側、ちょっと括弧の形が違うところは修正しますが、①番が、モック説明ぶりについての説明と、
0:03:08	ということ。2 番が、最初に廃棄物管理施設における設計説明説明グループの設定と、
0:03:16	ということでございます。
0:03:19	それを、
0:03:21	ナカ病死という形で、前回との繋がりを示した上で 22 ページからがボックスの閉じ込め条文に係る構造設計との説明でございます。
0:03:32	23 ページは前回も付けさせていただきました今回の説明対象、3 月ですかね MOX は説明した、全体の流れの中の今回対象がどこかということを示した図でございます。
0:03:46	24 ページのところで今回対象になる説明グループ 1 としての対象がどういう目的で、説明をしたいとかというところが一番最初の丸。
0:03:57	34 号、これ、
0:04:02	大枠で、今回の説明対象になるところに対してどういったことを留意して構造設計について説明しようとしているかというところを、それぞれの項目ごとに書いておりますこれも、
0:04:15	ちょっともうちょっとブルーが必要だと思っているところでありますけども現状、グローブボックスの構造設計の関係。
0:04:22	換気設備のシステム設計の話、あとは貯蔵設備のラップピットと、システム課が既設のシステム設計の関係と、
0:04:30	というようなことで項目立てをしてそれぞれ書いてございます。
0:04:35	工夫が必要だと申し上げたのは 25 ページに、今回、

0:04:39	本体側につけている対象の項目を、①番から⑤番まで書いておりました、
0:04:46	そのそれぞれの項目に対しての趣旨として、リード文みたいにして今回説明しようとする対象についての説明書きをした上で、
0:04:55	26 ページ以降に 27 ページとかにあります目次、細かい図という展開をするという方法の方が、
0:05:04	全体としてこれから説明する内容は何かというのが、はっきりするかなというところもありましてまだ検討の余地があると思っているところがございます。
0:05:14	はい。25 ページに書いてある五つの項目、これ
0:05:19	資料 1 から 3 の資料 3 の中でも、全部を対象に、今、説明グループ 1 の範囲を示しているわけではございません。
0:05:28	本体側には、①番のグローブボックスの構造設計関係が、全体を乗せる。
0:05:35	②番の配置設計も同じでございます。③番が括弧書きで書いてあります通り、
0:05:41	①番との関係を念頭に、対象のものをピックアップして載せてます。
0:05:47	④番も括弧書きの関係⑤番も加工費の関係で関連するものをピックアップして載せております。
0:05:54	下のダイヤモンドにあります通り、
0:05:57	別添として資料 1 から 3 をフルパッケージでつけさせていただこうというふうに考えていると。
0:06:03	ということでございます。
0:06:06	はい。
0:06:08	26 ページ以降からは、構成は、
0:06:12	すべて同じで、先ほど①番から⑤番の項目、それぞれに対して、
0:06:18	目次をつけて、目次には、
0:06:22	所長文関連条文と該当ページですね、該当ページは総務省の図がついているページとの関係、あとは、
0:06:30	俯瞰関連上部以外に、設計上のインプットになるようなものを、関連するものとして設計説明ぶりを載せていると。
0:06:38	ということでございます。
0:06:40	この目次をつけた上で、33 ページ以降にありますような図をそれぞれその目次の構成に従って、
0:06:48	つけていくということでございます。

0:06:52	本体側の、以前もお話を、があった通り、公開励起率で置き換えて、整理をしたものということでございます。
0:07:04	はい。
0:07:06	で、
0:07:08	グローボックスフルパッケージつけてますので構造設計、ちょっとやり過ぎ感はあるのでちょっとどうを対象にするかはもうちょっと考えたいとは思っています。
0:07:17	別添との関係であったり本文として説明する範囲をどこまでにするかっていうことだと思ってます。
0:07:23	はい。
0:07:24	いえ、60。
0:07:26	8 ページに、キクカワの変更点、これは
0:07:31	パーツとして1枚だけつけてますこれを、前の構造設計の説明とリンクをしながら、
0:07:37	こういうふうに変更点を示していくんですということで、1枚入れさせていただきます、
0:07:44	69 ページからがグローボックスのチームの配置設計ということ、これも同じように、目次を70 ページにつけて、
0:07:53	7170 で、ずれ、
0:07:56	この構造設計配置設計の説明をすると。
0:08:00	ということでございます。
0:08:02	はい。73 ページは換気設備のシステム設計ということでこれも同じように74 ページから目次がついてまして、
0:08:10	ここから先ほど括弧書きで示した対象を、の範囲に限定した形で、目次は全部つけてるんですが、75 ページのように青枠で囲ったところがこの後、
0:08:23	水が出てくるところということで、整理をさせていただきます。
0:08:30	81 ページからが、その関連の図面の説明ということで、管設備の方はまだブラッシュアップは必要だと思っておりますが、
0:08:42	前回のヒアリングでのやりとりがあった82 ページにありますような、
0:08:48	製作工程側での要求事項というのを一番上に、グループ内雰囲気ということで書いた上で、それと安全設計との紐づけをしながら整理をして説明しよう。
0:08:59	ということで、必要な要素を漏れなく書くということで整理をしてございます。

0:09:04	前回の話で資料3の①常務こういったものを、要件設計容積を市の要求事項から生産上の考慮等、これに紐づく安全設計の側ということで、
0:09:17	なお同じ欄にませんで、区切りをつけながら説明していくということで工夫をしていこうというふうに考えてございます。
0:09:27	はい。92ページからは、会葬者搬送設備の構造設計、こちらも、
0:09:34	93ページ以降に目次がございますが枠で囲った部分が今回の対象だと。
0:09:41	ということでまずはピックアップをさせていただきます。
0:09:46	96ページ前回の落下防止、だけ書いてあるような
0:09:53	関係がありましたこの全体として96ページにあるような落下防止総合して統合してどういったことを、設計として考慮しなきゃいけないかと、いうことを書いた上でそれぞれの部隊を97ページ以降にそれぞれ、
0:10:05	飯塚イデの図で説明をするということで整理をさせていただいてございます。
0:10:14	はい。
0:10:15	で、102ページからが、ラックピット他のの構造設計ということでこちらも括弧書きを書きがあったりなかったりするので、これもすいません整合とれます。
0:10:27	やっぱここで対象外ということで、
0:10:30	整理をさせていただきます。はい。
0:10:32	103ページに目次104ページ以降ニイツということで整理をさせていただきました。
0:10:39	こちらはまだちょっと記載については、ブラッシュアップが必要だというふうに考えてございます。
0:10:45	参考1が106ページからで、説明グループ1の表を再掲する形で、今回は全体になりますので、甘くは説明グループ1の範囲。
0:10:59	いうこと、108ページからが参考にということで前回も、
0:11:04	この構造設計等の説明をする際に、どういうことを気をつけてかつ留意して整理してきたかと。
0:11:11	いうことを展開をしたものになります。
0:11:17	はい。
0:11:18	前回から若干、
0:11:21	対カトウしているところは、
0:11:24	114ページとか災害重複するところをどう整理するかと。
0:11:29	いう点は、若干前回から追加になっているということでございます。

0:11:35	117 ページ目で参考 2 で、一応これでグローブボックス関係の説明グループ 1 の構造設計等の説明の一連の本体側のパッケージと、
0:11:48	いうことにさせていただいてございます。
0:11:52	これ切った方がいい
0:12:01	はい。
0:12:07	はい。説明は一旦ここで切らせていただきます。
0:12:11	はい。規制庁の竹田です。ありがとうございました。
0:12:15	はい。江藤。それでは一旦数までの範囲につきまして、説明いただきましたけれども、規制庁側からこの範囲につきまして確認がありましたらお願いします。
0:12:29	市長の荒井ですけども、
0:12:32	21 ページをお願いいたします。
0:12:41	21 ページの中で、前回会合における説明という枠がありまして、
0:12:47	今後の対応という形で、そのときの議論を踏まえてこういう整理をしますって書いてあるんですけども、前回会合で説明した内容って何だったっかっていうのが、
0:12:58	多分サマリーがなくてですね。
0:13:00	それで、こういう議論を踏まえて今後の対応、こういうふうにしましたという流れが、
0:13:05	わかるようにしていただいてそれで今回の説明範囲っていうところが、
0:13:10	矢印になるのかなと。
0:13:12	思っております。
0:13:14	今後、
0:13:16	部分的に今回も説明となるので、今後どういう説明にするのかっていうのも、そのあとに、
0:13:23	お願いしたいなどは思っています。
0:13:34	はい、三宅西山でございます。はい。
0:13:38	そうですねはい。21 ページのところ、切り取りで今後対応ところを書いてますが前回審査会合で、
0:13:49	共通 12 として報道設計等を整理していくと、その中で、ボックスのグローブボックスのチームを題材にしてまずはどういうことを記載するかということで整理を進めていると。
0:14:00	ということで、こういうところを工夫しながら苦労しながらやっていますというサーバが前回の説明、かつその状況を踏まえて、この①番、②番は各区切ったところを今後説明していきますよと。

0:14:13	言っていました。そういった内容の一連の流れがわかるようにした上で、
0:14:17	今回①番の話までに今の話を説明をするということと、
0:14:21	今回ここにつけ、
0:14:23	①番の終わった後、②番が終わった後でそれぞれ今後の対応をそれぞれ書いていくと、それから合体した上で一番最後に書くかちょっと考えます。はい。
0:14:41	あともう1点ありまして、先週の今後の進め方面談の中で、結局、今の作業って、
0:14:51	目的って、
0:14:53	何だっけっていうのと、その目的に対して、今どういう状況なんだっけ。
0:14:59	それで、目的を達成するためにどういうステップがあるんでしたっけっていうので、進捗ですよ。
0:15:08	今こういう作業をやってますっていうのはわかるんですけども、こういう作業っていうのは目標を達成するまでの、どのフェーズなんだっていうのは、
0:15:16	わかるようにしていただきたいというコメントをさせていただいたんですけども、その辺どう資料って、今どういう感じになってるかっていうのを教えていただけますか。
0:15:27	はい。与儀ニシダでございます。はい。
0:15:30	そういう意味でいきますと、まだお示しできてないので。そうですね。
0:15:38	もともと、
0:15:39	そうか。はい。
0:15:43	23 ページの話でこの枠を、
0:15:46	消していけば終わるかなと思うんですけどこの枠が大分メッシュ細かくなって展開されているので、
0:15:53	おっしゃっていただいたように
0:15:55	それぞれの今考えていたのがね。
0:16:01	ちょっとページがについてなので、3分。
0:16:10	107 ページにある、この説明グループの表が、MOXの場合、確かにこうだったかどこだったかもしれませんが全体があって、
0:16:19	それぞれ条文ごとに、
0:16:23	括弧書きで何を対象に説明するかっていうのがそれぞれ書いてありまして、閉じ込め資料分閉じ込めグローボックスで閉じ込め機能と容器落下、

0:16:34	右の方に行くと、耐震でいけば地震という要素モデルとかいろんな項目があつたと。
0:16:40	これが説明グループごとに全部散らばってどこで何を説明するかが書いてあるんですが、これがそれぞれ説明その条文ごとにその隅括弧で書いてあるような内容が終わると。
0:16:53	条文としてはそれぞれの構造設計等の説明が終わりましたよと。
0:16:57	いうことを今持ってます。はい。はい。
0:17:00	補足です。石原さんすいませんそれは前回話、前回というかつツミカタギリして行って、はい。はい。それを使いようが知りたいっていうことじゃなくて、はい。それを示すようにしてくださいってというのは知ってあつてですね。はい。
0:17:12	その示し方も私言ってるはずなんですけど。はい。作業忘れてるってことですか。
0:17:18	はい。宮城ニシダでございます。はい。私が作業をしてましてまだ提示できる状態になってないと。
0:17:25	ありました。すいません。はい。
0:17:28	なるほど。不足です。はい。それから線量掛けってというだけの話で。はい。はい。個々具体の何がどこまでとかっていうようなことを言う必要はなくて。はい。
0:17:40	6分並べ立てて。そうです。はい。
0:17:44	今、1のフェーズなのか2-1の図なのか2-2のページなのかと。
0:17:49	2-1のフェーズでも、部分、今、107ページとかで話したように部分的になるので、まだ進捗率何%ですみたいなぐらいがわかればいいということ。
0:18:02	でしたよね。はい、そうです。はい。
0:18:04	はい。はい。ざっと書いて、イメージって言ってやればいだけなので。わかりました。よろしくお願いします。はい。
0:18:20	はい。今新井さんにやっていると目的で何が多いかというところで、
0:18:29	この構造設計等の説明を
0:18:32	訂正対象設備全部に対して、やっていきますよ。代表使いながら、分類してやっているなのでその全体を説明していく。それが、その内には、
0:18:45	いわゆる申請書の形としてどうしていくかっていうのに繋がっていくということで、その進捗であったりを示す図は、これが確か
0:18:57	この資料のリバイス版を、
0:19:00	タケナカ、

0:19:03	POに出すことになってますけど、進め方ヒラノ資料なり何なりで何かどこかに入れて、早めにイメージがわかるようにカせて、
0:19:14	規制庁新井です。お願いします。
0:19:21	規制庁大岡です。ちょっと今のアライの、本当に関連してというところではあるんですが、
0:19:27	今回、2-1だけ説明するっていう部分とか、あと、再処理とか廃棄物管理はこれは整理方針が今のところ、
0:19:38	まだ整理中ですよという説明するのかそれとも作り結果ですよというような説明するのかそのそれぞれのフェーズを教えてくださいませんか。
0:19:48	はい。峯設楽でございます。はい。
0:19:52	まずは
0:19:55	具体の構造設計等を説明する入口として設計で詰める説明グループの、
0:20:01	そうですね整備した結果ですとやらないと次の田植えの移行もできないと思ってるんですが、とは言えと言いながら、溢水とか竜巻今やってる作業とのリンクもあるので、これも、
0:20:14	今日の時点でどうするか、明確に答えると、いろいろとやりとりがあった状況でありました。はい。
0:20:21	SISイトウか竜巻でやってる作業も、中身の細かい話の入れ替えみたいのあるかもしれませんが設計説明分類の説明グループの説明に大きくインパクトがあるようなものでは、
0:20:34	ないと思ってるので現状こういう形で、次共通要因のフェーズに進んでいくという意味でいくと、確定しましたということにしないと話は、
0:20:43	終わらないかなとは思ってます。はい。
0:20:46	はい。接続後MOXの後は、今回はこの資料1から3、構造設計等を整理してきて、その部分を見てもらいます今後評価等がありまして、そういう部分は、
0:20:58	今後説明していきますが、当間フィードバックがあるかもしれませんとか、そういうそれぞれの、今回説明する範囲と、何が残っていて、今後どういうふうにも、
0:21:11	進んでいくかっていうその具体的な部分っていうのは、やはり今新井が申し上げたような
0:21:18	前回からの流れと今後の進め方の中で、
0:21:23	法務講演に進めていきまして最後に書くとおっしゃってましたが、

0:21:28	初めにまずということを説明しますというのも必要だと思いますので、その辺を忘れずに整理の中に含めていただければと思います。
0:21:37	はい、与儀西原でございます。承知いたしました。
0:21:41	規制庁課です。あと今回具体的な説明資料1からその具体的な構造設計として初めて審査にかかるってということもあるので、
0:21:51	先ほど言ったようなそのそれぞれの条文の、
0:21:54	進捗状況とか、それぞれの説明の状況というのが、全体的にわかるように、
0:22:01	しましたっていうその具体的な説明に入れますってということが、もしこう進捗を
0:22:07	あったっていうところだと思いますのでそういうことがちゃんと背景に、
0:22:11	し記載されることが大事かなと思いますのでその辺もよろしく願います。
0:22:16	はい。与儀ニシダでございます。はい。今野氏ご指摘今の進捗の話もそうですしあとは、
0:22:24	冒頭荒井さんからあった前回の会合でのサマリーと今回の説明対象、今回、何が整理できたからこの図フェーズに来たのかということも含めて、以前、
0:22:37	ページを4月21ページのところで今回説明を
0:22:40	項目でぱっと書いてますけども、今の岡さんのご指摘でいくと、何を対象に今回説明するつもりなのかと。
0:22:47	いうことを整理をすると、あとは今後の対応とまた結びつけていくということで、認識をしました。はい。
0:22:55	大丈夫です。その方針でよろしく願います。
0:22:59	ちょっと続けてなんですけど、今回、何分で説明しようとしてますかこの構造設計等の部分は、
0:23:06	はい。乳井仁科でございます。現状、十分です。
0:23:11	はい。進まそのぐらい審査会合ということもあってそのぐらいで説明するということで、
0:23:17	前、まず前半にそういう背景とか趣旨とか流れとかを説明すると、その後ろ部分、今回相当な量の資料がついてきていますが、
0:23:29	どのように説明を進めるのかなというところをまずうかがわせてください。
0:23:36	はい、乳井西田でございます。はい。まずは、もともと考えていた先ほどあった24ページの下のポツ三つがですね、

0:23:47	ここにあるのがいいのかってところは、正直もともとが、
0:23:51	24 ページの実ミツイで書いてあるようなことをそれぞれのオノカードのところで言った上でそれに該当するところの部分をピックアップして説明を すると。
0:24:02	いうことをすると、10 分という範囲の中で、ポイントをスズキながら説明 できるのかなと思ってたところでした。
0:24:13	はい。政調会とそのポイントに応じて説明するってところとあと、別 添で具体的に資料 1 から 3、あとは共通受
0:24:23	共通中にそのまま出すってということだと思いますので、し、この本文の 中でそこまで今回のように、
0:24:31	記載してくる必要があるのかってところはいかがですか。
0:24:38	はい。致命傷でございますはい。まずう。そうですね。
0:24:45	今回、先ほどの説明の中で申し上げた 25 ページに書いてある一番か ら 5 番特に①番がフルパッケージについてます。
0:24:56	その特別添との関係を踏まえると、グローブボックスの構造設計として のポイントになるところだけをピックアップして、本体上つけると。
0:25:07	いうところのやり方もあるかなと思っていながらも今フルパッケージつけ てしまっています。先ほどの話も含めて、
0:25:16	ポイントになる部分を、それぞれのところでリード文で書いた上でそれに 関係するところをピックアップしてつけると。
0:25:24	他の部分は、別添 1 から 3 の中で、フルパッケージをつけて、
0:25:29	する形にするということでは考えたいと思います。はい。
0:25:34	超過です。おそらくその方針で結構わかりやすくなるしかつ資料の方 は、どこを説明するのかってということもわかりわかるようになって認識合 わせ、
0:25:46	できるかと思しますので、その方向でよろしく申し上げます。今回、つけ ていただいた部分は、前回 9 月 27 の部屋の時に、
0:25:56	こいってなかったところが大分補強されて、ちゃんと
0:26:03	整理を進めているんだなということがよくわかりましたので、その部分は よかったんですが、
0:26:10	そ、
0:26:11	そこを、具体的にどの辺を出していくかっていうところを今、何かお考え とかありますでしょうか。
0:26:19	はい。準備のイシハラでございます。はい等ですね戦略と
0:26:26	グローブボックスでいくと、

0:26:33	そうですね。
0:26:43	前回、前回 27 ページにある神田菅田井大和久の艦隊部分の目次をつけ、そのサンプル的な図面をつけていたと。今回グループ分けに、
0:26:58	整理ができましたということで、メインは管台いアノ単体その大枠のものとか、窓具の話。
0:27:07	あとは
0:27:12	接続部という意味で網羅的に挙げてますよという意味でいくに伴アノ 28 ページの関連部分とあと最後は支持構造の 31 ページの該当部分を、
0:27:22	ピックアップしてグローボックスを説明するっていうこともあるのかなと思ってました。
0:27:31	他の機械装置搬送装置なんかはパネルとの関係の
0:27:38	閉じ込めの影響という意味で、落下防止等の機構について説明をする形で整理をしていますが、ブロックが唯一フルパッケージついてますんでそういったところをピックアップして説明をすると。
0:27:49	ということかなと思ってました。
0:27:51	やはり規制庁かです。同じような認識でしてまず代表的な要求に一方、
0:27:58	答えているような概要図がまず一つあると思いますし、あとMOX施設として、何か特徴的な、例えばウラン加工なんかと比べて、こういうところがMOX施設のためにありますと、先ほどの生産系の窒素、
0:28:13	系の話もありますが、
0:28:15	生かそう、そういうそのMOXとしてこういうところはちょっと注意して、審査にかけたんですっていうところを、
0:28:22	少しピックアップしていただきたいんですが、そういうグローボックスの構造設計みたいなものでは、何かありますでしょうか。
0:28:30	はい、泉イシハラでございます。
0:28:35	正直特段ないような気がします。はい。
0:28:38	そうですね。
0:28:44	Aブロック、すみません、補足ですけど、特段ないってことはなくて、そもそもグローボックスにしてるっていうこと自体が、プルトニウムを扱うということで、ポイントであって、はい。はい
0:28:59	その関係からも冷却っていうのを意識してますよっていうこともポイントはい。
0:29:05	と思うんで、そこら辺明確にさせていただいて、
0:29:09	ということじゃないですかね。

0:29:12	はい。峯イシハラでございます。そうですね。グローブボックスを扱ってる自体はおっしゃっていただいている通りだと思いますのであとは
0:29:21	そうですね今言っていた、崩壊熱の関係も一緒に出てきますが、あとは、
0:29:29	グローブボックスでも確かパーツがあったはずなので、そういったところをピックアップして、あとは
0:29:40	はい。42 ページとかですかね、救急系排気のところの、
0:29:47	話 43 ページもそうですね、関係のところを、崩壊熱状況みたいのを気にしなきゃいけない。プルトニウムを扱うかということも含めて、
0:29:58	特徴的にやってきたところをピックアップして、説明をしポイントを書いた上で、
0:30:04	展開をしたいと思いますはい。
0:30:07	正当化で承知しましたその方針でまずはどういうことを示していくっていう意が見えるかだと思いますので、次のリバイズ版ではそういうところが見えるようにお願いします。
0:30:19	ですからいいわけです。
0:30:23	小阪です。
0:30:25	フルヤすぎると防火シャッターもう大分論が個別性の構造として論点になってるので、それを上げておいていくと。
0:30:35	はい、与儀西平でございます。
0:30:38	はい。
0:30:40	はい。それでちょっと話を戻しちゃうんですけど、
0:30:51	等、
0:30:52	前回の、
0:30:54	前回 20 アノ、
0:30:56	説明した方針っていうのを変えていきたいと思いますということで、ええと何ページでしょうか。21 ページです。
0:31:10	はい。すいません。はい。これ何だろうって見てい。
0:31:16	うん。見て。
0:31:17	見たんですけど、前回介護資料の 27 ページ。
0:31:23	になると思うんですが、
0:31:26	これ、何となく説明欲しいにまだなくて、検討状況の書き方になってるので、
0:31:37	これのうちの、おそらく矢羽根になってる三つを

0:31:45	方針として、
0:31:47	少しお化粧をしてってということでまとめるのかなあと。
0:31:52	思っ
0:31:53	たんですけどそれで認識して、丸で書いてあるようなところは、
0:31:59	今一状況説明だけなので方針になってないかな。
0:32:03	或いは今回方針として説明する必要もないかなみたいな。
0:32:07	気がするので、
0:32:11	はい。
0:32:12	三宅西田でございます。はい。おっしゃっていただいている通りだと思 うので。はい。
0:32:18	前回の会合でそうですね、27 ページの頭と。
0:32:23	下のマル呉が、前回説明している状況でこれから整理ができたものとし て説明グループ 1 に対して、今回、構造設計等について説明をすると。
0:32:35	流れても、ごめんなさい。はい、小磯です。それ、そういうことじゃなくて、 はい。
0:32:41	2-1 っていうのをどう説明するのか、間に、ここで新野にも書いてある から、その意味だと、2 をどう説明するつもりなのかっていうことを、
0:32:53	どうしていきますっていう方針として述べていただいでその方針に基づ いて今回グループ 1 を出していきます。はい。再処理についてもそれに 向けての、
0:33:06	グループの設定をしたので説明しますっていう形だと思うんですよ。は い。
0:33:14	それを、
0:33:18	ちょうど
0:33:20	今回の定時制だと 21 ページのところに書いていくとそうするとこういう 方針で前回お話ししましたっていうことで参考で資料 123 の構造があつて と。
0:33:34	今回参考でつけるという形になってますから、その段階でついてくるとい うことかなと思ってて、
0:33:44	現状だと、25 ページでまたっていうことで、ウダ下げているようなふう に説明してますけど。
0:33:53	そこに、
0:33:54	ここで参考につけてるものについてはその位置付けで最初に出てく るっていうふうにしてもらった方がいいかなと思います。
0:34:00	でます。はい。

0:34:10	宮城ニシダでございます。はい。延長します。はい。
0:34:15	はい、そうですそれでさらに戻ってしまったんですけど、
0:34:21	今回 20 ページにぽつとだけ書いてあって、説明の際にあったかって言われてましたけど、これ括弧書きとしては
0:34:31	最初の目次にあるように、
0:34:35	当MOXグローブボックスグループ 1 と、再処理とついで、
0:34:42	渋谷。
0:34:44	2. 含まれてますよっていう形でまず、その表紙を隠れる最初にポツの最初のページは、はい。書かれるってことですかね。
0:34:53	はい。有名ニシダでございます。はい。2 ページの目次との関係で、そうならないと駄目だなと思ったことでした。はい。
0:35:01	はい。補足です。それぞれで、それによって先ほど言った 21 ページが、2 ポツとしての説明方針があり、
0:35:12	そのあとにそれが最初にも関係、前回関係するような形で書きちゃってるので、
0:35:20	両方のものとして書いて、分割して何だ、
0:35:26	フクダ。
0:35:29	そっか、インピンジャー21 ページの矢羽根二つ目で最初に持ってきたいというので、今回はまず 1 点目であるやつを、何ページから、最初については何ページか入れます。
0:35:43	いうことにして、22 ページがMOXグループ 1 と、
0:35:48	はい。いうふうに繋がるということで理解をしました。
0:35:54	はい、宮城西原でございます。はい、ありがとうございます。はい。
0:35:58	20 ページの表も含めて、全体、頭のところ、
0:36:03	直していきたいと思う。
0:36:06	はい、そうです。
0:36:08	我々が行った全たの進捗みたいなのは、
0:36:13	この
0:36:14	ところに差し込むのか後にぶら下げるのかとかっていうのは、
0:36:20	どんな感じですかね、頭に入れて、
0:36:24	もうほとんど後で、その後ろで枝番みたいな形で、
0:36:29	リスク感じなんですかね。
0:36:31	はい。それとも、バラバラと言って、ちなみにか。

0:36:37	宮城西尾でございます。はい。多分そこが、先ほど冒頭荒井さんからあった 21 ページで言うこれまでやろうとして玉流れと、今回の対象が、なぜこれが出てくる
0:36:50	か、あと今後、どう進んでいくんだっていうのも含めてパッケージで書くと。
0:36:56	これぐらい多分ここが、2 ポツのリード文なので、そこで全部書き切つて、進捗のページがきて今回この部分に該当するんですがあって、
0:37:08	次に進むっていうのも、わかりやすいかなという気もしてました。ちょっとどっちに入れた方が、全体へのスムーズに、
0:37:18	見れるか考えて、パーツ作っていきたいと思います。
0:37:26	はい、わかりました。よろしくお願いします。
0:37:29	その次の 24 ページの先ほど話あったように少し工夫して変えてということのようなので、
0:37:36	これも全体のリード文があったというところで、枝葉のリード文ということになるんで、それは整理されるということで理解して、
0:37:47	つす。はい。以上です。
0:37:55	規制庁、井手ですけど。
0:37:58	今回、21 ページ。
0:38:03	見込みに係る構造設計の説明が、
0:38:08	メイン。
0:38:10	ついてるのが、結局グループ。
0:38:16	うん。
0:38:17	やっぱりどこまで終わったのかよくわかってて、
0:38:23	もう一つ言うと、まずグローブボックスだけで言うと、
0:38:26	今回、
0:38:27	共通住民のサマリーみたいな形で資料、
0:38:32	これまたブラッシュアップしたものを、
0:38:35	自治会とか自治会の会合でやるつもりなのか、その辺ってどういう戦略ですか。はい。日本ニシウラでございます。
0:38:45	今後の進め方、一週出しといっても一応グループ 1 について、10 月、11 月の審査会合のエントリーをするということで計画しました。それがあるかという
0:39:00	出てグローボックスに関係するものがグループ 1 に関係するものが、この別添も含めて資料 1 から資料 3 まで、プレパッケージがつくんですけど、そこを説明したいと思ってます。

0:39:11	ただこれが、この後出てくる後続舞台の構造設計等の説明の、
0:39:20	何ていうか、ベースになるので、その構造設計等としてどういったところまで説明してどういうふうなポイントを押さえていかなきゃいけないかっていうところで、何らか、まだ不足点があるんじゃないかなと思っているところがあるので、10月11月続けて、
0:39:36	その点の改善も含めて11月にもう1回っていうので、思ってます。ただ説明対象はあくまでグループ1全体を今回も対象にして、こういうところまで整理ができましたということで、
0:39:47	説明しようと思ってます。
0:39:50	はい。努力1を対象として、
0:39:58	その中身というよりは結果というような、こういうふうに説明をしていきますっていう、そういう説明をしたいんだけど、それにしたって10月には全部できる
0:40:09	11月までかかっちゃいます。
0:40:14	はい、弓削西田でございます。はい。かかっちゃいますけど我々としては説明する。
0:40:20	つもりではいるんですけど、何だかまだポイントとして出さなきゃいけないところがあるんじゃないかなという思いが若干あって、
0:40:28	その辺の
0:40:31	プラスアルファの
0:40:34	構造設計とかの説明の追加というのも含めて、10月11月を
0:40:41	セットで進めていくというのが、前回お出ししました。
0:40:46	シナリオでは、
0:40:48	はい。
0:40:49	ちなみに、23ページで言うと、2-1の説明だけで、もう、
0:40:56	になるとまた出てきちゃう。はい。
0:41:00	そう。
0:41:08	で、とは言っても、
0:41:12	今、閉じ込め、23ページでいうとこれ閉じ十条、ごめん。
0:41:17	そのうち今グループ1で話をするけど、さすがにこれ以降はもう、
0:41:25	1で説明すると、閉じ込めについてこういうふうにやって、
0:41:28	まず話でしょ。
0:41:34	それってあれですか、中、終わっちゃう。
0:41:39	はい、日本イシダでございます。対象外っていうところで行くと、

0:41:47	浅香です。私もちょっと気になって、107 ページでグループ 1 の全体像を示していただいて、
0:41:58	それ以外になってるのは十条取り込む。
0:42:02	ということなので、
0:42:05	それに関連する部分で、なので項目系のラックピットであれば、貯蔵っていうのを主条文として、それも説明対象になると。
0:42:16	ということだから、まず
0:42:19	新居が言ったその全体像の中で十七条も登場していないといけないと、いうことはあるんですけど、その主である貯蔵能力についてはグループ 3 だっていうことなので、
0:42:30	そのうちの一部ですよということになると思ってますんで、
0:42:38	この崩壊熱除去に配慮したっていうのは現状でも
0:42:44	はい、説明されてると思うんですけど、
0:42:51	今回
0:42:52	抜粋であるということからどういう趣旨で抜粋しているのかを書いている。
0:43:01	こと等、今のグループ 1 で説明することの全体っていうところが、どういうふうに、
0:43:10	表現されるのかなあというのがわからなくてですね、今の話だと、25 ページでは換気設備のシステム設計と関連する範囲っていうふうに、
0:43:21	ちょっと
0:43:23	グループ 1 の説明として仕切っているっていう感じに、その全体像として説明してるというふうには聞こえないんですけど。
0:43:33	その点はどう考えます。
0:43:37	はい、乳井でございます。はい。ちょっとそこも、まず、25 ページが、これちょっとどう表現するかを悩みながらも、
0:43:49	ほぼ、本体側ってかホンダ側で説明する、示す範囲をどうするかということを書いてると。
0:43:56	今回その資料 1 から 3、特に資料 23 ですね、でつけている範囲が、
0:44:01	若干確かに違うので、25 ページを見てこの範囲だけが説明範囲ですよというふうになら誤解がないようにしたいところは、ちょっと工夫を考えます。はい。
0:44:12	かつ、カミデさんからおっしゃっていただいた閉じ込めって表紙に書いて 23 ページの閉じ込める表紙がついてないんですけど実際 107 ページ見ていただくと、

0:44:22	関連条文でいう換気とか再搬送がグループ一体出てこないの、この関連も今回の説明グループ1で説明が終わりですという話になるので、
0:44:33	そのシートがそもそもついてないってことがいいのかどうかってところがちょっとよくないですよ。つけていかないと駄目だと。おまけにアノは、
0:44:44	神谷さんのチームで見えていただく、耐震のところも当然関連した部分をつけているわけで、それもシートがつかないと、一定そういう意味で言うと、諸条文関連条項で今回説明する範囲のもののみならず23ページのようなシートがあった上で、
0:44:58	どこを説明するんですかっていうのが明確になり、荒井さんの話だけ説明グループへ説明するっていうのは、何を対象にしてるんですか。
0:45:07	ていう、いうところで、
0:45:11	いうところとあと25ページで言っている、今回、説明するっていう本体につけるものと決定ですけれどもっていうのをそんなに仕分けしないでいいのであれば今回説明グループで何を対象にしますかっていうのを、それぞれ書いた上で、
0:45:27	別添と本体で、一応仕分けはしてますということで整理をしていくということかなと思いますのでちょっとその辺全体像がちゃんとわかるように、整理していきたいと。
0:45:37	はい。
0:45:40	はい。規制庁管ですっていただいた通り、私も耐震、言ってるんで、もうクロックス機器側の耐震の話とかあと配管ダクトの耐震の話。
0:45:53	30分で、そこに岩瀬ツカモトオンダハヤシナイトウも困るんで、してもらった一方で、テクニカルなところで言うと23ページの表の耐震
0:46:06	をつけちゃうと、今、耐震一部終わってないですから、それはそれでなんだって感じもしますが、状況として、というか
0:46:16	問題意識、その辺は共有されたと。
0:46:18	はい。
0:46:22	私の方から沢井のところは、技術です。
0:46:31	古作です。今、赤嶺が言った通り、関連条文についてですね、全部同じようにつけるかっていうと、私はそうじゃないんじゃないかなと思っててあくまで、
0:46:43	順序閉じ込めの説明をする際に必要だから入れていると。
0:46:48	いうことであって、関連条文のやつを説明し切るということではなかったはず十条は説明しきるということでやるんだけど、

0:46:58	ということなんで、
0:47:02	であるからこそ、新井が言ったようにですね全体像を示す中で間接でここは触れてますよ、今後も続きますよということがわかるのがいいのかなと。
0:47:12	思っています。で、というのも十四条案いうなんかもありますし、
0:47:21	先ほど少し触れられてましたけど 20 条廃棄、23 条関係と、
0:47:27	というようなことも発掘で、
0:47:30	これ全部つけるって何か、そもそも視点がずれるよねっていうことがあるので、
0:47:36	整理としては、そういったシュート関連等っていうのは、分けていただいた方がいいと思ってます。一方で
0:47:45	項目キュウワーアノ条文で、十四条ちょっとかかるんでこれは条文だから、ある程度つけないと。
0:47:53	それはそれでおかしいかな。
0:47:56	いうふうに思います。
0:47:59	以上です。
0:48:01	はい。
0:48:02	ございます。はい。ありがとうございます。はい。
0:48:07	21 ページからの流れも含めて、委員会整理をして、今参考についている、107 ページの表を、当然全体の説明の、
0:48:18	位置付けを説明する 2 個例がないとあれなので、これをもって、前の方に持ってきて、
0:48:25	それぞれ、通常分になるものが、23 ページ以降の、あとは関連条文というのを、どういう範囲まで今回説明するのかと。
0:48:35	いうことを明確にして、まだ続くものは続くんだということを明確にすることで、はい。整理を進めさせていただきます。はい。
0:48:48	コサクです。その上でなんですけど先ほど 107 ページっていう項目系のラックピットについては、今回も配慮した説明、具体がされるということでいいかと思ってるんですけど。
0:49:04	項目 6 の方は、容器落下っていうのが通常分側で説明することでそれに対応して、関連条文第 16 条の搬送で落下転倒防止と、
0:49:18	いうことで、これセットかなと思うので、
0:49:23	説明入ってるんだらうなと思う。
0:49:25	内部の生産物の同舟ですか。

0:49:31	はい。量減少でございます。はい。業種でございます。結局はそうですね。学科、
0:49:37	他の防止みたいな技術力とか同じような話がありますので。はい。内田と思ってます。はい。
0:49:43	はい、古藤です。その意味では、6と9は人と一緒になるものは今回入ってるってことでいいですか。はい。西原。はい。おっしゃっていただいている通りでございます。はい。
0:49:55	はい、そうです。一方で、3の換気設備ワーもともと部分的であることもありですね。そこの辺りを明確にしてもらえればと思うんですけど。
0:50:14	これもあれですかね、抜粋してられていますけど、
0:50:18	今回グループ1でやらなきゃいけないところは、後も、基本的には抜粋できている。
0:50:25	していくって古藤で大丈夫ですか。
0:50:28	はい。与儀の石原でございます。はい。そういう意味でちょっと今回ですね、
0:50:35	各設備のシステム設計の部分を抜き出して74ページ以降ですかね、作っています。ただ
0:50:41	このシステム設計とリンクする記述た排風機なんかの構造設計も、今回、
0:50:48	対象にしていって今回大分グローブボックスの
0:50:53	閉じ込めとの関係で、直接リンクがあるところだけを抜粋してる形になってますけど、
0:51:00	説明範囲という意味でいくと、個別の機器の強度設計なんかも対象にしてましたのでその辺が、全体像との関係、どういうふうにリンクするかはちょっと整理ですね。
0:51:13	はい。
0:51:15	はい、古作です。
0:51:18	をつけなくても後でついてるので、呼び込みとかですね、することで説明をした形にはとれると思いますんで、定型で特段その説明しなくても、
0:51:32	問題はないような話であればその程度でもいいと思いますが、いずれにしても、
0:51:38	6名混合するかのような感じに見えないように、説明対象範囲ということでは、意識をして対応いただければと思います。以上です。
0:51:48	はい。有名ニシダでございます。はい、承知いたしました。はい。
0:51:54	ちょっと全体、どういう組み合わせで書くか、整理をいたします。はい。

0:52:01	そういう意味で、そうですね。
0:52:04	関係するものの目次を全部抜き出して、対象部分ってやってますけど、そもそも別添も含めて説明する範囲、今回本文に入っている範囲設定に入っている範囲ということ。
0:52:17	整理をしてそれがまず全体がわかるように工夫をしていきたいと思いません。はい。
0:52:25	はい、古作です。それがいいかと思いません。
0:52:32	施設ハバサキです。ちょっと具体的な話で、
0:52:37	最初の話で、
0:52:40	今日の資料の
0:52:41	後半の部分の、最近また変わってくると思うんですけども、
0:52:45	具体的にグラフ、グローブボックスの方と設計については、今回、
0:52:52	或いは、
0:52:54	証券とか、
0:52:56	そういう観点からですね、機構からの、
0:52:59	変更っていうのも一つポイントかと思ってます。
0:53:02	その中で 59 ページは、構造的な主な、
0:53:06	具体的な方法であったり、
0:53:09	いかない。
0:53:12	ア、イ、
0:53:15	この中でですね、68 ページの、まず、
0:53:20	このうち、これ前回まずだったら、
0:53:25	これは特に、
0:53:26	うん。
0:53:28	特定化されてます。
0:53:33	はい。りゅうぎんの石原でございます。はい。
0:53:39	と言う事でしたがちょっと待ってください。
0:53:47	芳賀公文。
0:53:51	多様な、
0:54:01	六ヶ所。
0:54:03	聞こえる。
0:54:09	はい、聞こえてます。マッピングだっけ。前。
0:54:15	でもマスキングするほどのことないよ。
0:54:20	今回のブロー没水数の、何て言うんすかね

0:54:27	ポンチ絵化っていうんですが特にグループ、個別のグローボックスポンチ下というのは全体、全般的なグローボックスの形として、タッチにしたので、マスキング
0:54:39	ではないとしています。はい。日本イシダでございます。そういう意味でそうですね前回図面をそのままペタッと貼っていたので、それを
0:54:49	その境界が微妙。はい。はい。共通的な絵として、
0:54:54	作り直したものとしてマスキング対象から外して、
0:54:57	はい、規制庁浜崎です。適切な処理処置、
0:55:01	あとですね、その委託間 68 ページの第 1 に関しても、前回の資料があったんですが、支持架台、
0:55:10	コンピューター或いは基礎一時ぐらいというところも、
0:55:14	されてるんでちょっとその表示が、
0:55:19	ちょっとすぐ、きちんとした、はい。
0:55:22	植田さん。
0:55:25	はい。
0:55:27	よろしい。はい。住民一緒でございます。はい。地震動が変わっていると補強した部分を変更した部分が網羅的に見える。
0:55:37	認識しましたので、対応させていただきます。はい。
0:55:53	細かい話。
0:55:56	いいですか。はい。
0:55:58	絡みで目についたところ、33 ページですけど、
0:56:07	右側に耐震クラスってあって、
0:56:11	何か、何の説明なのって感じなんですけど、これって、
0:56:15	いるんですかっていうことでもないんですけど、どういう考えでこういう
0:56:20	考えもそうなんですけど、
0:56:24	はい、与儀西原でございます。そうですね。はい。
0:56:28	まずは、
0:56:30	全体的に資料の構成上資料③の一番山の②ですかね、調整して、基本設計方針で展開するものを、
0:56:40	使いが必要なものだけをピックアップしているけど、全体的に抜けがないようにというふうに、
0:56:45	展開してしまってる結果が、ここにも、
0:56:50	直接説明できないような共通的なものも載ってしまうというのが状況だと思ってますので

0:56:56	おっしゃっていただいたように、ここに書いたところで何、何もずっとリンクしてるかもあまりないので、ちょっとそこは全体を含めて整理して、
0:57:04	はい。はい。
0:57:06	資料 2 をしっかりまだ作り込んでない方でちょっとコメントする前なんですけど、そこをちゃんと整理するのは、多分なくなるのかもしくは、
0:57:16	グローブボックスだけの説明だとするとですね、
0:57:20	こんなものですね、僕サイズ、これぐらいはBのクロボクさんですよっていう説明でも、耐震クラスっていう意味では
0:57:30	そうなのかっていうのは、特化はありつつ、
0:57:33	資料 2 の展開として、それを説明したからって何なんだっていう感じするんですよ。
0:57:39	なんで、結論的にはなくてもいいのかなっていう気はし、してるんですけどちょっとどういう目的で書きたいのかってあんまりにもそのような内容なんで、はい。
0:57:51	はい。
0:57:55	都築。
0:57:56	規制庁。
0:57:58	35 ページとかを、
0:58:00	なんですけど、
0:58:01	結局、
0:58:03	グローブボックスのその閉じ込め機能っていうのは、
0:58:07	どこで担保するのかっていう考え方が、もうちょっとわかりやすく、一文で書いて欲しいなと思って、
0:58:19	結局は、
0:58:22	また庄野環境安全部ローファット 1 個ぐらいはいいんだけど、
0:58:28	聞いてそれぐらいの開口があっても引けるような、はい。
0:58:32	2、全体を収めたいっていうことがまず、とじ込みとしては一つなんでしょうから、その辺の
0:58:39	考えを書かないと要は艦隊だけ持っていればいいですか。そうではなくてパネルもなんですけど、あれも 100%、
0:58:49	微動だにしないレベルかっていうとそうでもないですっていうところが、ご案内と、結局そのいろいろガasketだとか、そういったところなんかいろいろあってんだけど、これらがどれほどどうのものなのか。
0:59:03	だったら、
0:59:07	話なのかってのがよくわからない。

0:59:10	こういう考えでの一応、
0:59:14	ここでこの時担当して、こういう考えで機能維持をするから、ここが大事なんです。
0:59:19	これはこの程度ですっていうところが少しある。
0:59:23	質問
0:59:27	はい。りゅうぎん西田でございます。はい承知いたしました。はい。そうですね。そこが、確かに、
0:59:38	この後に気密性とかでどのぐらいのリーク率かみたいのが出てきますけど、それとポート1個分が長い間開いても、比負圧を維持しなさいとか、外国の風速イセとか全体として、
0:59:52	守らなきゃいけない、境界っていうか、はあるので、そこも含めて、こういう負圧維持、閉じ込めの考え方なんだということを全体限り色で書いた上で、
1:00:03	それが舞台に展開されていくと、この、この程度でって言ったらこういう設計で十分なんですと。
1:00:09	いうことで説明の繋がりをつけるということで、
1:00:13	はい、規制庁か。
1:00:15	本当はその評価の資料4と合わせてああそうかってことなんですよね。
1:00:22	非常用の許容値だったり、検定部位みたいなのところも見つつ、前の資料3を見てあそこでイクノを維持するから、これぐらいの検定。
1:00:35	だからここでは、
1:00:36	こういうところは別にして、
1:00:38	わかるようになっていう、そういうイメージなんですけど、少しは、
1:00:42	もう少しイメージを膨らまして、最終的には全部並べてつけて、
1:00:47	はい。
1:00:49	すいませんコサクですけど、今のお話はいっぱい資料の構成とかのりかいいをしていかないといけなくて、
1:01:00	今カミデは35ページ。
1:01:04	で話をしたんだと思うんですけど35ページの前に書いてある。
1:01:10	ですよね。
1:01:12	34ページの一番上、
1:01:16	有井33ページの一番上なんですけど、
1:01:21	文章で長々と書いてあるから、読みにくいよっていうことはあるかもしれないんだけど、

1:01:27	そのあたり、わかるようにしてもらってということはまずあって、
1:01:33	まず確認は 33 ページの頭にありつつ、34 ページの頭にもある。
1:01:39	35 ページになるとなくなると。
1:01:42	というのはどういう考えで整理してますか。
1:01:46	はい。弓削西原でございます。はい。そういう意味でいくとまず、
1:01:53	33 ページがグローブボックスとして設計上全体考えなきゃいけないこと。
1:01:59	いうのを、
1:02:02	34、3 と。
1:02:05	確か 34 に分けた。
1:02:10	のがもともとの発想だったと思ってました。
1:02:14	ね。はい。
1:02:17	違う。
1:02:19	違う違う違う。
1:02:20	33 ページの頭が(1)艦隊窓具及びステンレスパネルと書いてあって一番頭の表題ですけど、これがグローブボックス全体で示したい。
1:02:30	国家こう示すと。
1:02:32	その上で、歓待の詳細構造として 34 ページから順番に繋がっていくと。
1:02:38	34 ページが艦隊の詳細構造の
1:02:43	まず、リードになっているので 33 と同じようなことが展開をされて、あとは、それに紐づけながら 35 ページ以降舞台のパーツの話をしていこうとして、
1:02:55	構成は考えてました。
1:02:59	はい、そうです。その通りで、まずそれが、
1:03:03	ちゃんと理解できるようにしなきゃいけないっていうのが一つで、
1:03:08	34 ページから 34 ページが艦隊としてのリードで、それを踏まえてその次のページ以降ということなんですけど、
1:03:18	その繋がりがちょっと見えないうのが、やっぱり
1:03:23	カミデのコメントに繋がる原因かなと思うので、
1:03:30	その辺りで
1:03:34	ちゃんと繋がるように
1:03:37	34 ページの四角の下なのか何だかわかりませんが、
1:03:42	入れていってもらおうと繋がってくるのかなという気はしますがちょっと表現の仕方は原燃の方で検討いただければ結構ですが

1:03:53	考えていただければというふうに思います。
1:03:56	はい、峯氏ありがとうございますはい。
1:03:59	はい。
1:04:03	規制庁、菅です。
1:04:05	40 ページの、
1:04:09	阪大、
1:04:11	は、比木の取り付け、
1:04:14	そして以降ない、いろいろ意味がわかって、
1:04:23	何が言いたいんですかっていうところから質問します。
1:04:33	はい、新美でございます。
1:04:47	はい。与儀イシダでございます。はい。そうですね。
1:04:52	関係ない。
1:04:55	もともとは 28 ページにある。
1:05:06	管台部の関連条文どうですかね、管台部の構造強度を確保するってところからの発生ではあるんですけど、とはいえ、意味が通じないですね。はい。
1:05:18	ずっと整理をします。はい。
1:05:22	規制庁深見です。そもそも機器の取り付けって何だよ。
1:05:26	私、そういう方に、多分、例えば芦田大井、
1:05:30	とても強い本
1:05:36	コウノ判定もできない、いろいろあるんですけど、
1:05:39	多分、
1:05:41	グローブボックスっていうのは、間接支持構造、配管から見ると、直接支持構造ですよ。
1:05:50	それに対して、ババある程度硬くナイトウ共振液を見なきゃいけないんですけども低ピッチでそんなことやってないし、
1:06:00	定ピッチとしてはこれ、かたいものとして、
1:06:03	そして前提でやってますから、
1:06:08	そういう前提Eをクリアできる程度には構造強度を持たせておくんですけど、
1:06:17	まずそれがそもそも、基本設計方針でそんなこと書いてないんですね、原則 5 にする。
1:06:24	それから、向こうになってないグローブボックスは、まず、原則は全然だけどもその管材のところだけはそんなに動きませんよみたいな。

1:06:34	バンドで結んでないこともできるんですけどそこってというのはこのパネルのハラのところだけなので、みたいな確認をすれば、ここは別に通信しませんよっていう話も、
1:06:45	あるんだけど、そういうこともちゃんと説明せずに、結局謎の日本語で取りつけると比較として5になるって言っちゃうと、ちゃんとやって、
1:06:55	くれてないなって感じがするので、その辺をしっかりと考えてくださって、その上で、もし私の想像してるように直接支持構造物としての機能を言ってるのであれば、内装機器の直接受
1:07:10	構造物でもあるわけだし、管財だけの話ですよということですからその辺はもう少し、
1:07:18	ちゃんと書きましょうっていうことですか。はい。お願いします。
1:07:23	はい、油井ニシウラございますはい終了いたしました。
1:07:28	はい、規制庁です。私の方から、
1:07:40	トークです。前の確認なんですけど 34 ページで、
1:07:46	管台について、少しわかるようにということで給気口で書かれたんですけど、はい機構はどうなってるんですか。
1:07:56	はい。いや、駄目だ。
1:07:59	あっちあてにも広がる。
1:08:02	はい。
1:08:03	でございます。ちょっと、
1:08:06	絵がひどいですね。はい。もうちょっと
1:08:11	大事なコード色をふやしてもらったつもりだったんですけど、それが説明できるね。はい。
1:08:17	はい、わかりました。そうですね作業者にやっぱり作業の趣旨を理解してもらってというのが大前提かなと思うんですけど。
1:08:28	書いているものの具体を示せていうことではなくて、ちょっと一連の機能が達成しているということを説明しろということなので、
1:08:38	はい、よろしく申し上げます。はい。
1:08:45	そういう意味で、規制庁のアライですけど、
1:08:49	例えば 39 ページ 40 ページとかって、同じような図じゃないですか。はい。斜めからアイソメみたいな感じで見た図で、はい。それで、41 ページにいくと、具体的に、
1:09:02	穴があいてるところが書いてあって、これはこれで、
1:09:06	地質がどうなってるんだっけっていうコメントを踏まえて、入れていただいたのかなと思っていて、

1:09:12	それで
1:09:14	この中に気づき事項としてはこの差圧計っていうのはどういう形状にな ってるんだっていうのが、
1:09:20	左上の、
1:09:22	上面からの図ではなくて、ただ左、右下の差をつける詳細っていうところ には書いてあるっていうところでちょっとリンクがとれてないのかなって いうこと細かいですけど。
1:09:33	上の左上の図にも反映すべきなのはっていうところは、コメントをして おります。
1:09:41	はい、西田でございます。今の 41 の話ですよ。はい。はい。今線が 引いてるだけですからねというね。
1:09:49	はい。ちょっと全体、
1:09:54	トップページの中でのリンク吳であったり、程度感というのでもできます。 はい。ここは単体での取り付け構造っていうところを説明するので、穴 がこういう形で書いてますよってことはあるんだよ。
1:10:27	来たばかりで恐縮ですけど、規制庁アライですけども、
1:10:31	今回のメインの説明で漏えいしがたい構造を示してるっていう理解で、
1:10:38	例えば今のサーチ系の部分っていうのは、継続性という形の説明って、ど このグループで説明するんだとかって、
1:10:46	決まったりするんですか。
1:10:48	はい。井手西原でございます。はい。
1:11:01	まず、
1:11:04	複数の場合、計測制御っていう条文がそもそもないので、どこで説明す るかっていう話になりますけども、あとはこれは多分その差圧計、もとも と差圧を測るっていう意味でいくと、関係についでる
1:11:19	差圧計みたいなものがメインの
1:11:21	39 メーター定期になるんで、
1:11:23	こういったような取りついているものとしてはいますけど、はい。はい。そ ういうことですね。わかりました。
1:11:31	スミダって何か普通に差圧計だったら、負圧の維持っていうところで、必 要だと思っていたので、期待するもの、期待しないものっていうのが分 けられれば、期待するものとしては、そっちで確認したいと思います。
1:11:44	はい。
1:11:51	規制庁コサクですちょっとこの辺から外れますけど、

1:11:54	全科いいマスクングしてるところとかを、介護でもちゃんと説明できるように回位の形にできないかっていう話をさせていただいて、
1:12:07	大向以上にわかりやすいポンチ絵がいっぱい入ってきてですね、とても
1:12:16	は、全体としてこういうふうに行っているんだなっていうことが崩壊の場でも話ができるようになった。
1:12:23	見て、驚いているんですけど、
1:12:28	この辺の作業って、どんな体制なりでやられて、
1:12:34	ということなのかなという、ちょっと聞いておきたいですね、今後の資料作成にも関連するかなと思ってちょっと状況を教えていただけますか。はい、日本一周でございます。はい。まず
1:12:46	0 エイズも含めて、作成するのは、複数もすみませんそんなに人数の部隊ではないので、体育館に行っても、
1:12:56	30 人。
1:12:58	ぐらいですかね。
1:13:01	それぞれやってるのも、数人のメンバーですけど、結構パワーあるので、その数人の人間窓の図が、逆に言うと、今まで作ってる図で、
1:13:13	使えそうなものがないかっていうのをまず探した上でない場合はこういう絵が欲しいということで、手書き内でなんだったってリクエストをして作ってもらうということでやってます大分今まで逆に言うと、
1:13:27	社内でも何でも設備の説明をするのに、必要なものを作ったりという意味で、あった図をかき集めてるっていうのが多いですけど、
1:13:39	そんなすごいすごい作業っていうほどでもない、なかった気はしますが、はい。
1:13:47	そうですねわかりましたそのようなところ、これまでの蓄積があって、集大成として、わざとつけるっていうことなんですね。
1:13:55	わかりました。その点で、最初には 20 年間の 20 年間以上ですかね、ということなので、
1:14:06	新たなものとかはありますが、同じようにやっていただければなというふうに思います。以上です。
1:14:29	議長。
1:14:30	ここまでのところは、
1:14:37	進行が悪いんですけど、
1:14:42	最初に、
1:14:43	はい西田でございます。はい。
1:14:52	ものが、

1:14:54	はい。
1:15:08	出てきます。
1:15:10	大丈夫です。
1:15:14	越冬
1:15:16	これも頭の 20 ページのところで絶対に今回の対象とか今後の話をする道で今回、118 ページから、
1:15:24	最初に廃棄物管理施設の設置説明分類説明グループの設定ということで、
1:15:30	119 ページに、設計説明分類 119、120 説明分類のお話でございます。
1:15:40	丸い形をするという意味で今回の接種購入への
1:15:46	適合性なんかを説明する時に構造設計を説明するという観点での分類を、丸い形をしたということで 6 分類にしていると。
1:15:55	ということでございます。
1:15:57	その時の留意事項なんかも含めて、119 ページから 120 ページが、それぞれ再処理廃棄物管理施設、再処理の 6 分類、廃棄物管理施設 4 分類ですね。
1:16:10	上の分類に入る主な対象というものを、
1:16:16	この後の説明グループに出てくるような、条文の認識、意識をなるべく考えながら、それぞれ網羅的に項目が入るようにということで、
1:16:27	対象になるような設備を上げていって、
1:16:29	というのが 120 ページの表でございます。
1:16:32	オガタ井清とか再処理等共用の話と廃棄物管理施設、家族の話ということで整理をさせていただいてございます。
1:16:42	はい。この分類を踏まえた上で、MOXと同じように、今説明グループを分類していくと、なるべく同じような説明ができるものは固めて、かつ、
1:16:56	いくということと、説明グループの中での説明範囲っていうのがなるべくボリューム感も含めて膨大な内容ということを意識しつつ、説明グループを設定していくと。
1:17:07	順序も含めてということでございます。121 ページが、どういった部グループになるかは、7 グループで設定をしようということで、
1:17:17	具体的ハードみたいなものが説明グループ 1、内的ハザードのうち 1 せいか 800 円の漏えい部分が説明するときに、
1:17:27	重大事故対策の事業設計に関わるようなものが、説明グループさん。
1:17:32	助成に関するもの説明グループ 4 で内的の予定、火災防護に関するものが説明グループ。

1:17:42	で、電気のPEEK対策等の話が説明グループの
1:17:47	最後共通的な話であったりその他事故の話が説明。
1:17:54	ということで整理をさせていただいてございます。
1:17:59	122 ページ以降が説明、それ以外のグループに入るものがどんなものが、条文として関係するかということ整理をしてこれは先ほどMOXの107 ページにあったものと同じような整理をしている。
1:18:13	受けましたということでございます。
1:18:16	ただこの分類、それぞれ対象になるもので、別のグループでまとめてあります。これもちょっと同じですけども、122 ページで一番右側の欄、
1:18:27	ただ、関連条文も含めて、
1:18:31	本来あれば説明対象になるんだけど、他のグループでまとめて説明した方が合理的だというのは、
1:18:39	グループ 2 とかグループさんに展開をしますよと、こちらでまとめてありますというような整理をさせていただいているということでございます。
1:18:48	はい。
1:18:49	福祉と同じように対し、もうこの設計説明グループの中に、今後、人事、構造設計等の説明をしていくということで、
1:19:02	進めていきたいというのが、現状を付け足すということでございます。はい。
1:19:08	説明は以上です。
1:19:11	はい。喫煙長の竹田です。ありがとうございます。それではここまでの説明につきまして規制庁側から確認あればお願いします。
1:19:21	規制庁の藤原です。
1:19:24	まず分類の方ね、119 ページ。
1:19:29	120 ページなんですけど、まず 119 ページの下の三つの場合やって、
1:19:37	江藤先週の
1:19:40	進め方ヒアリングでやりとりをしたところからの変更点はない、変更はないんですけど、びっくりをした上で、変更しなくていいと思ってるのか、どういう状況なのか説明してもらっていいですか。
1:19:53	はい。与儀イシハラでございます。はい。
1:19:58	変更が必要で、
1:20:00	という認識です。何でこうなったかは、
1:20:07	正直ですね。
1:20:10	途中で、

1:20:12	今、今気づくなんて話ですけど、途中で先祖返りしてますね。資料、はい。もともとやっていたのは 119 ページの下から 3 番目と、
1:20:24	えさから 3 番目と、下から 2 番目。
1:20:27	これは、一つの項目で説明できるというふうに認識をしてました。
1:20:36	設備一つの設備で構成。
1:20:40	パーツだったり、設置場所が、
1:20:44	屋外屋内に分かれてますとか、ああいう場合に対して、
1:20:51	119 ページでいくとどうだったっけな。
1:20:54	この間、設計として考えないといけないハザードの考慮みたいなものを考えて、構造を決めるメインになるものを、
1:21:05	対象に、設計を展開していきますよということを書くつもりでした。はい。すみません。
1:21:14	清町の藤原です。はい下から三つ目と二つ目はその話だったかと思えます。なのでまとめられて、もう少し言葉も整理されてということだったかと思えます。
1:21:26	一番下のところも、コメントというかやりとりはしていて、保管場所使用場所って言うけど、ベース保管場所に置いてるよねって話をしたと思っていますし、
1:21:37	本当はあの昨日出てきている共通 12 だとその辺はもうすでに手当してあって、何でこっちは整理しないのかなと思ったところですが、その認識されてますか。
1:21:46	はい。
1:21:47	はい。南野イシハラでございます。はい。共通 2 の本体を作ったのも私ですので、はい。認識をしています。はい。
1:21:55	すみません。
1:21:57	規制庁の内野です。はいそちらが修正されてたりするの認識をされているけどこの修正がすっぱり抜けちゃったんだなと思ってますので、適切に修正をしてくださいというのが 1 点と、
1:22:08	あと 120 ページのところ念のための確認なんですが、再 1 配置の項目のアクセスルートで括弧法面の話をに入れていただいたんですけど、
1:22:18	このアクセスルートというのは屋内外両方っていうふうに考えておけばいいですかね。はい。宮城ニシダでございます。はい。両方です。はい。
1:22:28	規制庁のフジワラですわかりました。
1:22:31	はい。とりあえず分類の方で、私から確認したいことは以上なんですけど、規制庁側で何か分類関係で、沖確認事項ある方。

1:22:40	お願い。
1:22:47	規制庁の伊澤ですなさそうであればもう次、グループの方に、
1:22:52	行きたいと思います。
1:22:54	部、グループ、
1:22:56	この方は 121 ページに考え方を結構記載していただけたのかなと思っています。
1:23:03	ただ、今回の
1:23:07	グループ、
1:23:09	この中で一番ちゃんと整理してくださいねと思っていることの大枠としては、どこのグループでどこまで説明しようとしているのか、っていうのを、
1:23:19	整理がきちんとならなければ、これでフィックスみたいな形にはならないと思っています。もちろん他で整理しているという最初の方にありましたけど、
1:23:30	土肥水稲へと竜巻だったりとかっていう整理は、大きな管理の方にインパクトを与えなくても、こっち側ではどうなるかっていう話もありますし、少し修正がかかるかもしれないけどある程度フィックスというのであれば、
1:23:43	グループ 1 ではどこまでの説明をするつもりなのかどこまでの範囲をやるつもりなのかっていうのは、きちんと考えていただきたくて、その結果なんですということなんだと思うんですけど、今の記載ではちょっとわからない点があるので、
1:23:59	何点か例示的にはお伝えしようと思います、という確認をさせていただきます。
1:24:06	まず 100、
1:24:09	22 ページ、基本的にはMOXと同じ考え方でこの整理をされてますなんですけど、MOXの場合結構設備が限定されていて、設計説明分類というのは結構もう、
1:24:22	機器であったりとかするところで、そういったところでいうとこっちは結構なグルーピングをしているので、そのままいいのかっていった点も考えていただきたいところなんですけど。
1:24:35	まず、屋外建物構築物っていうのを区分けしてなくていいと思いますってところが 1 点と、
1:24:45	まず、ここのグループ 1 でやりたいのは、合ってるのかなあ、最新の一番最初の説明にあったように、

1:24:54	外部衝撃と耐震を優先して説明するのに、グループ 1 に持ってきてますという野瀬であれば、安心をやるん。
1:25:04	もう含めてやるんだと思ってるんですけど、33 条とかもちろん書いてあるんでやるんですねと。例えば、特にグループ震災時であれば、建物構築物のところでやると。
1:25:15	その分をやるということで、36 条のアクセスルートの確保で外的事象というのがあるんですけど、別の説明グループで説明を行う関連条文というところで、
1:25:29	36 点真ん中辺ですかね、1.2Ssの機能維持はグループ 3 でやりますとかってなっていて、これってどこまでをこの説明グループ 1 でやろうとしているのか説明してもらっていいですか。
1:25:42	はい。日本イシハラでございます。はい。
1:25:51	日本イシハラでございます。はい。
1:25:55	まず、そうですね、1. に衛星IP、
1:26:02	竜巻、
1:26:04	当該小の関係で、
1:26:07	FMをコラボして説明をしなきゃいけない、いいという範囲において、SA 側の条件として 1.2Ssを考慮しなければいけないという条件があれば、この説明グループ 1 の中でやろうと思ってました。
1:26:24	重大事故と対象設備の対象に直接関係する機能の維持ということに対する呉イシイー律の考慮
1:26:35	ということについては、グループ 3 です。
1:26:38	ということで考えてました。おっしゃっていただいているようにそうだと、
1:26:43	アクセスルートの確保って結局グループ三社程度というところが、多分まだ整理がうまくできてないところかなというところもありますんで、検討します。はい。
1:26:55	規制庁の藤原です。その時に、建屋は全部とりあえずここで 1 回、1.0S sまではするってことなんですかね。
1:27:07	それとも建屋も制限かけるんですか。
1:27:12	セトのフジムラさんの建屋の範囲ですね
1:27:15	実際は勤怠は、
1:27:18	後ろに回されてるように見えるんですけど、それは新規のものの緊待所だけは、グループ 4 の方でやってそれ以外の制御建屋とか内処理何とかっていうものは、

1:27:30	事故が起こる建屋ではあるけれども、1.0Ssまではこっちでします何ですかね。
1:27:39	はい、与儀西田でございます。はい。ちょっとそこはもうちょっとちゃんと整理をします。はい。おっしゃっていただいているように、
1:27:49	耐震というと、Ssの話。ただSsの話だけして構造設計の説明終わるかということも含めて、
1:28:00	どう整理するかということだと思います。はい。
1:28:07	今はもともとはSsの話。
1:28:12	そうだ。自分で部長してるのは、
1:28:15	ちょっと整理します。はい。ちょっと自分でも今しゃべりかけて矛盾が生じていることに気が付いたので、はい。1.2Ssの扱いどうするかということどこにどう仕分けをしていくかと。
1:28:29	いうところを、今一度整理をさせていただきます。はい。
1:28:34	それが竜巻とか溢水でやってる整理のお話も含めて、どういう範囲をそのグループに説明することで考えてるのかっていうところにもリンクするので、
1:28:45	ちょっと整理をさせてください。はい。
1:28:50	刑部ちゃん、あ、ごめんなさい。
1:28:53	清梨衣ではあるんですけど、そもそものこの分類の考えは
1:29:00	類似のものはまとめて説明しようっていうことだと思っていて、最初のグループ1の視点は外部ハザードと、
1:29:11	いうゴトウがまとめられますよねと構造設計としては
1:29:19	それぞれ考えながら、結局こういうことだよねっていうことで整理をしますということだと思うので、それであれば1.2Ssっていうのも、類似のものだからっていうので、
1:29:31	拾い上げる形で関連条文から出てくるんだろうなというふうに私としては思っていました。で、一方でその外部衝撃というか、赤い数字じゃない、ハザードというか、
1:29:44	それから外部衝撃もですね、
1:29:47	外部衝撃として
1:29:53	労働設計上配慮してるとかっていうことじゃないものは後内部ハザードとの関係で
1:30:03	説明を一体にした方がいいと。
1:30:06	いう部分もあるのでそれは後送りしますよっていうことで別の説明グループの説明としてるのが幾つかあると。

1:30:14	いうふうに理解をしますので、
1:30:18	杓子定規にですね、重大事故だから何とかとかっていうことじゃないんじゃないかなと思う。
1:30:24	てますので、グループさんが説明しますという趣旨なりをクリアにしていく必要があるんだろうなと思ってて、
1:30:35	121 ページで
1:30:40	第三つ目で重大事故について触れてますけどこれ機能設計っていうのはほど行っているんですけど、そういった視点を意識してもらえるといいかなと思います。
1:30:53	はい。稲毛西田でございます。はい、ありがとうございます。はい。そうですね。まずは、同じ
1:31:00	類のものを、共通的に説明できるようなまとめと。
1:31:03	いうことがまず、もともとの考え方で各 121 ページにあるように、外的ハザードをに関するものを、まとめてやりましょうというのが、確かに今回、
1:31:17	あとは実際自分でもばくつと書き過ぎたなと思ってたところがまだ、まず今、
1:31:23	指摘を受けた点ですので、ヤブキの設計というところのちゃんと趣旨がわかるように、記載をしていきたいと思えますはい。
1:31:32	はい。補足ですよろしくお願ひしますちょっと関連でお話をすると、121 ページでグループ 3 はグループ 1 に、
1:31:42	説明を、
1:31:44	しないといったところの趣旨みたいな。
1:31:48	論になってきてて、
1:31:51	昨日のその要領なり何なりっていうのは
1:31:56	外部ハザード、内部ハザードという関係から、構造とは直接カセないのでということになって、かつ、変更点としての主要なものなのでしっかりと説明しますと、
1:32:09	いうことかなと思うんですけど、そういったそのあとのグループ 456 と繋がっていくところの、並び順みたいな趣旨をですね、
1:32:22	その前の丸のところ単純に以下の通りじゃなくて全体的な
1:32:28	考え方っていうのをもう少し入れといてもらおうと。
1:32:33	次、具体のダイヤとしてだからこうなのねっていうのがわかるかなと思うので、
1:32:40	まとめていただきたいんですが、それはあれですかね。

1:32:45	構造設計としての主要なものだったり説明の影響程度みたいなどころうなんですかね。はい。仁科でございます。はい。
1:32:56	おっしゃっていただいている通りだと思います
1:32:59	設備の、
1:33:01	変更点での、重要度だったりその設備の構造なり機能を決める上での、
1:33:06	重要度だったり、そういったものを
1:33:10	高いものから順番に並べていくというのが、もともと考えてた話でした。はい。
1:33:17	はい。
1:33:18	そうです。そうする等、
1:33:22	建設者もRCAいろいろと配慮をしていかなきゃいけない。このものがあるというので外部ハザードがあり、内部ハザードで
1:33:34	国内全域いろいろと対応をとることになる。
1:33:38	溢水について対象機器保険ほぼすべてみたいになるので
1:33:44	説明希望の多い溢水がありで、今回の主、機能と追加という意味で最重要である重大事故規定と、
1:33:55	いのは何となくわかるころはありつつも、その次の居住性っていうのはこの位置でいいのかだったり、火災防護が何でこの位置になるんだということだったりっていうのはどうですか。
1:34:07	はい。宮城でございます。はい。まずう、
1:34:14	居住性の件については、今、整理をしながら、
1:34:20	外語外的ハザードに入っている話と、大分、
1:34:26	共通項が出てきてしまう部分があるということは認識をしつつ、その外部は外的ハザードところもう例えばフィルターをつけるだとか何だか、
1:34:38	再循環のモードをつけるとか、というようなことについてはまとめて説明をするという意味で居住性の中にピックアップしようと。
1:34:46	いうことで整理をしました。ただ順番については、
1:34:49	どこがいいのかもうちちょっと考えなきゃいけないなと思ってますけど
1:34:54	火災の方が多分優先的には上に来るんじゃないかなと思いつつ、
1:34:59	女性のところを後ろにあったとしても前にどれだけ、提供があるかと、そこでは議論の中でフィードバックがかかる度合いがどこまであるかで、優先順位を決めないとなというところもあって、
1:35:11	あとは変更点の重要度で先ほど言った、
1:35:14	いうことからいくと、

1:35:16	一つはよ、3と4、4と5が、
1:35:22	ひっくり返ってもいいのかなってのはもともと考えていたところでした。はい。
1:35:28	はい。補足です。
1:35:32	それはそれでもいいかなと思いつつ、MOXとの兼ね合いっていうこともあったりするんで、そこを見ておいていただきたいのと、あとその居住性の関係で外部ハザードグループ1との関係っていうのもお話ありましたけど、
1:35:49	重大事故対処がグループ1にも入った上でグループ3があるということからすると、
1:35:58	グループ4もう、制御室緊対建屋としては、グループ1で説明しつつ、機能としてはグループ4で等、
1:36:09	5人なのかもしれませんけど、という。
1:36:13	ことでもいいんじゃないかなと思いますけど。はい。日本原燃石田でございませぬ。ここはすいません私がまず、そうですね。藤原さん先ほどの質問に全くまず答えてなかったの、おっしゃっていただけるように、
1:36:26	建物みたいなものであったり構造みたいなものはグループ1位で、賃貸を含めて対象にしようと思ってました。あくまで機能設計の説明だけを、グループ、今、4、2っていうところで持ってくると。
1:36:41	ということで整理をしましたその辺もまだ、今の状態だと見えないので、そういったところも、明確にしていければと思います。はい。
1:36:50	はい。補足です。それで言うと、122ページの
1:36:57	建物構築物のところで、別の説明グループでっていうところ2緊対が、
1:37:07	入っていった、グループ4で説明なんですけど、これは何かあれですよね。インターネーション設置っていう言葉がちょっと。そうですね。はい。資料2を見てないんであれなんですけど。はい。
1:37:20	引退譲渡して耐震を求めたりもするので、その点は今回のグループの関連条文だけど、牧野助成みたいな機能はグループ4でっていうふうにされるっていうイメージでいいんですかね。はい。西原でございませぬ。はい。そう思っておりました。はい。
1:37:39	はい、わかりました。藤原さんお貸しします。
1:37:42	清市長すいません。今野。
1:37:45	緊対の居住性、
1:37:49	何かできる。
1:37:51	構造設計との絡みそうな、何かよかったするんですけど、

1:37:57	はい。
1:37:58	はい。はい。まず居住性は、今は桁にしろ、
1:38:05	構造設計とかなんですか。はい。
1:38:10	グループ 1 とかと、あとグループさんですね、それぞれやることを役割分担をすると、今思っていたのはグループ読んでいて、居住性に預けるものがあんまりなくて、
1:38:22	偉い薄っぺらいづくにはなりますってあると思ってました。
1:38:27	ただ設備としての構造設計みたいなものは、それぞれ必要な
1:38:34	建物構築物だったり、屋内の機器配管であつたりで、耐震も含めてやらないといけないと思いながらも、再循環モードにしますよフィルターにはどういうメッシュのものをつけますよう、
1:38:46	なので、行政としては、機能は達成できますよみたいなものが、
1:38:51	グループ 1 とかで説明してるものを前提にインプットにして、グループ 3 で全体説明する。
1:38:58	いうことがもともと考えて確かに、
1:39:01	規制庁。
1:39:02	耐震、1ヶ月木製安心してましたけど
1:39:08	事実上ねえ。あと建屋の気密性みたいなのを見て、どういったひび割れて見てて、そこまでのものは、
1:39:19	MOXが工程室なんて、最初にもうせるっていう意味だと、間瀬だってそこまで1回ちょっと気密もんでもないから、まあいいでしょうって話になったときに、
1:39:33	これが緊対所って制御室のその最初のやつですとかはそれは何か一緒に感じだねって話をしていたんで、それで言うと、真木。
1:39:44	何か制御室のときに、もうすでに話をして、緊対をする、するっていうんであればもう本店が先につぶされてるので問題ないのかもしれないですがちょっとその点であれっと思ったわけです。
1:39:57	はい、峯岸でございます。多分各説明グループで何を説明するのかというところの整理だったり、記載がまだ、
1:40:08	足りてないから、こういう形になると思うので、もう一度舞台に展開できるイメージがつかめるように、
1:40:14	整理をさせて、させていただきます。はい。
1:40:18	はい。40 以上です。
1:40:22	規制庁の藤原です。

1:40:25	あとこの資料で何点か聞きたいところがあるんですけど 122 ページ先ほどの調査官とのやりとりで杓子定規に考えて、ちゃんと
1:40:36	中身として整理して欲しい部分であってその認識をしていただけてるかが心配なので、1 点お聞きしたいんですけど。
1:40:45	122 ページの、関連条文厚別のグループで説明を行う部分で、環境条件のところDBでは、DB設備について何かグループ名、
1:40:57	SAの場合はグループ 3 みたいなことをしていて、せっかく何か今、あわせて説明できるとかいう話をしているのに、こういう整理をされていて、どういうお考えなんだろうっていうふうなところを思ったところですが、
1:41:11	先ほどのやりとりでこの辺も整理されると思っていいですか。
1:41:15	はい、三吉でございます。はいあわせて考えます。はい。グルーピングであったり、その中で説明するものをいかに合理的にやるかと。
1:41:27	いうこと。もともと割り日は、ほとんど真木許可日認可から条件変わらず、
1:41:35	あとはSA側でジャンプアップするようになってところの条件をどう見ていくかというところが、メインかなと思っていたところもあったんで、そこ、7 と 3 に分けてましたけど関連性も含めてどうを説明していくかと。
1:41:49	いうところも含めてグルーピングの設定も、もう少し中で説明する内容の整理をしていきたいと思います。はい。
1:41:58	規制庁の藤原ですよろしくお願いします。あと細かい点ですけどSAの関連項目を赤字でされていて、でも多分これって、
1:42:08	全体的にはそんなにまだ綺麗にできていない気がするんですけど、例えば、
1:42:13	さっきの江藤、今お伝えしている部分の次の操作性及び試験検査性の操作性だけが赤で、井清の試験検査性の話があると思うんですけど、その辺りとかも、
1:42:25	まだ整理は必要だという認識っていうことでいいですか。
1:42:29	はい。乳井石堂でございます。はい。そうですね。はい。整理しないといけないですね。はい。
1:42:37	規制庁の藤原ですよろしくお願いします。あとすいません。いろいろとお伝えしてありますが、次の 36 条だけを書いている今の同じページの、
1:42:48	同じセルの中なんですけど、その中で、悪影響防止のところ、DB施設っていうのは、悪影響防止しか書かれてないんですけど、

1:42:57	井清では考えるべきはそこだけじゃなかったはずだし、悪影響防止の中でも幾つか検討というか、相場世紀さんの話であったり、系統構成の話があったりとかすると思うんで、そのあたり、
1:43:13	ちゃんとどこがどこに含まれる。
1:43:15	ここだったら本当は竜巻の話ってこうなんじゃないのと思ってたりもするんですね。
1:43:21	ちゃんとわかるようにしていただける方がいいかなと思いますが、認識いかがですか。
1:43:25	はい、西田でございます。はいちょっと項目、
1:43:32	ちょっとどこまで同じページに収めたか含めて、あのフローは質問。はい。隅括弧で説明しなきゃいけない小項目のポイントをちゃんと網羅的出して、どこでどう説明していきますかを、
1:43:46	示していくのがこの
1:43:48	122 ページ以降の目的ではありますので、その目的に沿った記載ということで定義を進めさせていただきます。はい。
1:43:59	規制庁の藤原ですよろしくお願ひします隅っこ付けられる。
1:44:03	理由ももともとどこで何をちゃんと説明したいのかっていうところを表示したいということだと思いますのでよろしくお願ひします。あとまだ昨日の今日なので、細かい点っていうのは、そこまで、
1:44:15	確認できてるかっていうと、こちらちょっと確認中ではあるので、全体的にそういった目で見えていただきたいというところがまず 1 点と、あと、項番最初の、
1:44:27	グループ時と鎌田新居と河井衛藤 129 ページとかになると、別の説明グループで説明を行う関連条文って、
1:44:38	ループ域外 1 の通りっていうふうに、バーで書かれてるんですけど、実際に本当に、
1:44:44	その辺のグループ 1 の再一応採用できるのって思うんですけどこの辺の認識いかがですか。
1:44:51	はい。油井西原でございます。はい。
1:44:59	ならないですね、ならないって言ったのはおっしゃっていただいている通り 122 ページで一番右側に入ってるものから、
1:45:09	右から 2 番目に、
1:45:12	病院としてる人たちがいるので、最市野通りとはならないと思うので、その辺は、はい。
1:45:20	横着しないで、ちゃんと入ります。はい。

1:45:23	清町の藤原です。はい。ご理解の通りで、
1:45:28	説明グループで説明を行う関連条文のところとの関係性もあると思うので、きちんと考えてくださいと言ったところです。ちなみにお聞きしたいんですけど
1:45:40	MOXの時もこうだったのかもしれないんですが、設計説明分類踏襲条文ってもう完全にセットものになるんですか。
1:45:49	はい。日本イシハラでございます。はい。セットもので整理をしました 多田
1:46:00	何て言えばいいんでしょう。なぜこうなってるかは、ボックスン時、我々がどう考えたかは、
1:46:07	設計説明分類ってどの条文を軸に考えるかで分類額って変わってくるので、誰か。
1:46:15	主になる条文を決めてあげないと、分類が定まらない。
1:46:20	当然臨界と遮へいと閉じ込めと耐震じゃいう切り口違うので、そういう意味で、諸条文を決めて、ある種、この設計の、かつ主要部っていうからにはその設計の骨格を決める上で、
1:46:33	メインになるところっていうので預けようと、それを、
1:46:36	軸に置いて分類を考えましょうっていうのがもともと考えたところでした。
1:46:42	とはいえ、説明グループを追っていくと、どんどんどんどん市場分じゃないところがメインで説明することになったりするところもあるので、
1:46:52	そこの書き方はもうちょっと工夫をしたいと思います。はい。
1:46:59	規制庁の藤原です。はい。おっしゃる通り、グループ3以降になってくるとグループさんなんかはSAの個別条文関係をしますって言いながら、出されるのは36条が入ってますけど、一応、
1:47:12	はい。はい。第8条第36条というだけで、SAの情報関連情報になってしまうと。
1:47:18	あとグループ4なんかもそうですね。ていうところでちょっと何かやっぱり、この整理、今の記載の仕方なのか、工夫が必要かなとは思いますが、ちょっと検討していただけるようにお願いします。
1:47:32	はい。弓削ニシウラでございます。はい。そうですね。グループからもそうですね。今、これ、記載の仕方も複層最初にも変わらなくて129ページでいくと、
1:47:45	おっしゃる通り、建物構築物は地上36条できてグループ1で説明って市場部に関係することはグループ1でやっていますっていう形にはしてるんですけど、

1:47:54	見る人がパッと見て何言ってんだかよくわからないっていうことになってるので、ちょっと記載の仕方を工夫させていただきます。はい。
1:48:04	規制庁の藤村ですよろしくお願いしますそうですね増本グループ2からもちょっとあれと思いながらも、
1:48:11	参与になってくるともっとあれって感じが強いので、そのあたりは整理していただきたいということと、そうですね。
1:48:21	ごめんなさい高速です。
1:48:23	今の話になってようやくポイントがわかったんですけど、はい。江藤修条文っていうのは、
1:48:29	接近説明分類で一つっていうことなんですっけ。
1:48:33	はい、乳井西原でございます。今、
1:48:39	黙殺一つでやりました。
1:48:42	理由は、資料1の段階で設備とひもづけるので、違う主要部分は1コガそうですね。1個でなくても構わないというのが前提です。ただ
1:48:55	重要度ってというか、行動とか機能組み入れるを優先順位でトップバッテリーにしてるやつを今諸条文で、項目書いてました。はい。
1:49:05	はい。
1:49:11	そうですね。資料1の段階で
1:49:14	この説明グループも考えて諸条文ってのを書いておけば、この資料文って言うてやるのどれが今回の説明グループの対象ですかみたいのをマーキングしていくと、わかりやすくなるかもしれません。はい。
1:49:27	うん。
1:49:29	はい。
1:49:31	条文一つじゃなくていいよっていうのも、MOXでお話したと思う。下と思うので第2順位第三条位ぐらいまでを、
1:49:44	意識をすれば、大分変わってくるかなあという気はするん。
1:49:50	何か一つに絞った結果後で特にSAなりなんです。緊対なりということで分けるといったときに、その分けた趣旨みたいなのがわかりにくくなってもよくなるかなと思って、整理をしてください。
1:50:06	はい。稲毛ニシナさん、ございます。はい。
1:50:09	いたしました。
1:50:19	規制庁の藤原です。大枠としてお伝えしたいことは以上なんですけど1点だけ139ページに、米印の記載を書いてあるんですけど行間が狭過ぎて読みづらいのもう少し読みやすいように、

1:50:31	教訓を考えていただけるとありがたいです。はい。とりあえず、私から以上です。はい。ありがとうございます。はい。
1:50:38	ベネッセ宇田ですその他、規制庁側から確認はございますでしょうか。
1:50:50	よろしいでしょうか。
1:50:52	それでは下の方から、一旦ここまでについて振り返りをお願いいたします。
1:51:00	はい。宮城ウエハラでございます。はい。
1:51:06	大きいのはですね 2 ポツの説明
1:51:11	の、
1:51:13	21 ページのところというかところで前回までの状況あと今回の説明対象であったり今後何を説明していくのかと。
1:51:26	というようなことの全体がわかるようにということで整理をさせていただくということ、あと
1:51:33	前から、すいません、宿題の中にできてなかった進捗を示すというのをイメージ化というのをした上で、今回説明するポイントが全体がどの位置付けにあるのかと。
1:51:43	というのがわかるようにするということ。
1:51:47	はい。つか一番大きいところかと思います。はい。あとは
1:51:54	それから、
1:51:55	23 ページで言う、ちょっとページですね、条文ごとのページ、これ今回各種条文になってるところはページをつけさせていただく。
1:52:06	ということで整理をします。関連条文の話は最初のリードのところを書く全体像の中で、主条文を考えつつ、関連状況についてもあわせて説明していくという中で、
1:52:18	どういった条文の関係性を示すかというのは、
1:52:21	今、117 ページに入ってます。グループ 1 の説明とのリンクで説明をしていて、
1:52:28	ということで、先ほど
1:52:31	23 ページの色まではつけないということで整理をさせていただければと思います。はい。
1:52:36	その上で、24 ページ以降は、24 ページで大枠の説明のリード文ということを書きつつ、25 ページ目の今回の
1:52:48	まず設計としての説明対象、今回本体につけるところだけをピックアップして書いてますが全体はそもそも何言えということと、別添との関係ということ。

1:52:58	さらには、それぞれの設計での説明ポイントというのをそれぞれのところで書いた上でそれに関係するものを、本体側からそれ以外のところは別添についていると。
1:53:10	いうことを臨港確定、全体構成を考えていきたいと思います。
1:53:15	はい。ということかと思えます。はい。
1:53:24	後は、このページのところは、34 ページの図みたいな、考え給気口ピックだけつけましたけど、全体のちゃんと
1:53:38	関係するもののパーツ取り上げるところのパーツがわかるイメージというのをちゃんと考えていると、いうこと、あとは、
1:53:48	あれか、それよりもっとおっきいのがあるかな。
1:53:51	33 ページからの全体のそのグローブボックスとしての閉じ込めに関する設計方針の展開の考え方ということ、ちゃんと 33 ページ 34 ページ 35 ページ以降との関係というのがどうあるのかということ、ちゃんと整理をして、そういうふうに見、
1:54:09	中身の記載も繋がるようにですね、整理をしていくと。
1:54:14	いうことかと思いました。はい。
1:54:18	今日は皆さん方 40 ページの記載ですね、ちょっと日本語としてどうなのというところが何もわかってない方なので、ちゃんと整理、
1:54:28	あとは、
1:54:32	ハバサキ案があった変更点とかですね、ちょっと全体必要な方も含めた、今回変更等に係るものは整理をしてもらって、記載をさせていただきます、
1:54:42	いうことかと思えます。はい。
1:54:46	あとは全体同じように、何を対象に入れるか、ベツプの関係どうするかは同じだと思いますので全体的に整理をさせていただきます。はい。
1:55:01	参考 1 は前に持っていく後、資料 1 から 3 の構成という意味で、109 ページみたいなものもさっきの全体の説明とのリンクで、
1:55:15	ちょっと前の方に関連性が出てこないといけないところなので紐付けはちゃんと、
1:55:24	ですかね。はい。資料の最初の部分は、そういった形で全体の見直しをしていきたいと思えます。
1:55:34	はい。あと最初の設計説明分類説明グループの設定の部分については、まず 119 ページの文書、すいませんツジの本体機能出しましたが、そこでの修正した内容が、

1:55:51	全然反映されてない部分は、しっかりと修正をしていきたいと思います。はい。
1:55:59	あとは 121 ページは、説明グループの設定まず説明グループの設定の考え方以下の通りとしてるところは全体の説明グループの設定の考え方を書いた上で、ここ、それぞれ、
1:56:12	キーワードを書いたつもりでいますけどまだ具体性がないところもありますので、それぞれの関係性もわかるように、記載を拡充していきたいと思います。
1:56:22	はい。あと 122 ページ以降の隅括弧の記載であったり赤字でしているところは全体整理をして、抜け漏れがないこととあとそれぞれで何が言いたいかがまずわかるように、あと説明グループごとにちゃんと説明する範囲が、
1:56:38	整合とれていることということの整理をもう一度ちゃんとしたいと思います。
1:56:44	サトウは 129 ページの下にある他の説明グループの記載の通り、記載の通りじゃないのに会というところはあの真面目に、
1:56:53	正しい記載に修正させていただきます。はい。
1:56:59	はい。あとは、最後の 139 ページは、ちゃんと利用、記載をして、
1:57:05	はい。
1:57:06	はい。以上です。はい。
1:57:11	そういうことで、諸条文、改めてちょっと整理をする。すいません。ごめんなさい。はい。条文 1 個じゃないよということも含めてそれぞれの説明グループでの説明とリンクとるように関連する条文を市場の中に、
1:57:27	ぜひ取りをするということで、はい。整理をします。はい。
1:57:31	はい、そうです。で、ちょっと質問し忘れちゃったんですけど、
1:57:36	127 ページ、
1:57:40	外部衝撃としての説明グループ 1 で
1:57:44	ここまで再処理 123C6 となってるんですけど、最初の 5 っていうのは外部衝撃の説明はないっていうことなんですね。
1:57:59	はい。10 年のイシハラでございます。
1:58:07	旭川、
1:58:10	はい、与儀西原でございます。ありませんと言えないんだ。
1:58:17	屋外のやつやりましたね。第 1 回で最もはい。ちょっとそこも含めて。はい。

1:58:24	これは。はい。整理が必要ですね。はい。耐震がそもそも入ります。はい。はい。ちょっと整理します。はい。
1:58:32	はい。何かそういった点でまだ含まれてない。共通 12 で積み上げていった結果っていうよりは、概略考えましたっていうレベルにしかなくなってない気がするので、
1:58:44	介護までに精査をしっかりとっていただきたいと思ひますし、特にそのMOXと違って、この今グループ 1 見ただけでも、
1:58:54	本来は先ほどの種条文と同じな感じになるんですけど、設計説明分類、
1:59:01	主に条文があつてそうすると説明グループで、
1:59:06	どのように分類を説明するんですかという感じになってきているところ、再処理の場合は
1:59:13	分設計スベン分類はものとの累計であり、
1:59:18	説明グループの方は条文との累計でありということになって、結局はそのグループの中で、全分類説明する必要があるとあつてそのときの視点としてはグループの部分をついてということになるん。
1:59:34	それでいいと思ひんですけど、そういったポイントがやはりこういうふうに出てくるので、その意識をちゃんと持って、作業していくってことかなと思ひます。よろしくお願ひします。
1:59:46	はい。入院者でございます。はい。ありがとうございます承知いたしました。
1:59:55	規制庁のタケダですその他、
1:59:59	堀川飯尾の説明を踏まえまして確認等はございますでしょうか。
2:00:09	よろしいでしょうか。
2:00:12	それでは合同設計に関係するヒアリングは、これで以上となりますけれども、残りの耐震の方につきましては 15 時からの枠でオオウチということで、
2:00:25	見さしていただきたいと思ひますけれども現状はそれでよろしいでしょうか。
2:00:29	はい。
2:00:30	よろしくお願ひします。はい。
2:00:34	はい。承知しました。
2:00:36	もし、その他、何もなければ、ヒアリングはこれで主、一旦区切らせていただきますが、よろしいでしょうか。
2:00:47	はい。

2:00:49

それでは午前はこれで区切らせていただきます。横の方、ページをお願いします。

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。読解しました。
0:00:03	規制庁の武田です。衛藤それでは午前に引き続きましてヒアリングの方を再開いたします。
0:00:10	出席者が入れ替わりましたので、改めて紹介いたします。衛藤村長側の方で、本庁の出席者の紹介をお願いします。
0:00:19	はい。規制庁管です。規制庁は本庁からカミデハバサキです。後程長谷川管理官からてられる予定です。以上です。
0:00:30	はい。規制庁の竹川です。続いて、WEBからの参加が古作調査官消しのタケダ営業になります。
0:00:38	それでは日本原燃の方から出席者の変更等がございましたら、説明をお願いいたします。
0:00:45	はい。日本原燃事務局中浜です。
0:00:48	日本原燃の出席者、特に変更ございませんけれども、対面されてるメンバーちょっと変わりましたので改めて紹介させていただきます。
0:00:57	す。
0:00:59	スケーリングチームより、結局、ハセガワ、ノモトWebより、イシグロタカヤイシハラ。
0:01:09	再処理の事務局参加させていただいてございます。
0:01:13	以上でございます。
0:01:17	これ、規制庁だけです。それではですね耐震審査会後資料案の方につきまして、衛藤耐震部分の方から説明いただければと思いますので、県の方から説明をお願いいたします。
0:01:32	日本原燃野本でございます。それでは1ポツの耐震設計の情報のご説明のところをさせていただきます。右肩たがじゃないです。ミギタのページで、3ページ目からがガイドでございます。
0:01:48	4ページ目5ページ目は、こちらは従前の今の生活のフォーマットを示してるものですので、これを図前につけさせていただいてるところでございます。
0:02:01	右下6ページ目からが今回のご説明内容でございますけれども、6ページ目は、これまでの
0:02:12	検討状況を様に申し上げておまして、これまで1から入力地震動の差でも12番のモデル検討を実施することにしたと。

0:02:24	ということで、現在、データ積み上げてる状況であって、各省のご支援いただきながらやってございますといったようなところの、全体の話を書いてございます。本日は岩盤の減衰定数のうち東側、2、
0:02:40	に対する検討と、それから追加調査の進捗状況をそれぞれご報告しますということ、ここで述べさせていただいてるところでございます。
0:02:50	右下 7 ページがこれが前回示しました全体計画を、これまたロールアップしたものでございまして、今回のご説明内容は先ほど申し上げました東側地盤の下水道数とそれから追加データ。
0:03:07	に基づく検討の進捗であるということ、ここでこちらへ行っているものでございます。
0:03:14	で、28 ページ目、ここからが岩盤の減衰定数の説明でございまして、この章というのは全貌を減衰定数の検討の、
0:03:25	全貌といいますか地震観測記録を用いた検討の先方示してるものでございまして、9 ページ目からですね、東側地盤に対する伝達関数による検討の状況をこれ説明しているものでございます。9 ページ目は、
0:03:42	ここを巻きました観測記録の地震計の意義ですとか観測記録の種類の種類ですとかそれをどういふふうに分析したかといったところの記載がございましてこれは中央地盤と同様に、このようなやり方でやったところを、
0:03:59	こちらでも計画を説明するものでございます。ミギタ 10 ページ目、このところが東側地盤における検討でのですね初期地盤モデルの作成についてのペーパーを 1 枚入れてございまして、ここがですね、中央地盤の
0:04:17	現行とのまっさ分に相当するところであるということ、どういう考え方で、このですね、東側地盤を設定してきたのかといったようなところの記載をしているものでございます。同時にですね中央地盤の東側一番の、
0:04:33	差分がこういふところにあって、ということをやっております、このですねアノ数 5 と図 6 で、中央とヒガシを対比させる形で並べてございまして、東側 2 番はですね、この高速度層状態に対する地質境界というのが、
0:04:50	この断層を挟んで、この近傍にですね、その境界がですねこの
0:04:58	従前同じ速度層の大仲としていたところの間のあるところにあるということ、そういうふうな今の一番状況をですね反映した形でのこのですね、
0:05:15	速度境界を設定したといったような検討のプロセスを記載しているものでございます。増員ですねこれに関しても責任集中であるということ、簡単に触れさせていただいているというところでございます。

0:05:28	ミギタ 11 ページ目ですねこちらでこのような検討をした結果ですね、この伝達関数の再編が良いような結果になってきたというところで、これに基づく減衰の同定結果というのを示してございまして、ミヤマ員や取水、
0:05:47	それぞれ同定の結果というのを示しているところでございます。
0:05:51	初めてこれがあそこシミュレーションっていうの、結果で、そのフィギュアが比較的債権が良いような状態にあつて、Aと出水どんなヒガシするよりも、
0:06:04	若干大きめの加速度をを示しているという傾向を示してございましてこれは中央と同じような傾向であるというところを示しているところでございます。
0:06:15	13 ページ目がこれらの地震は干渉による検討を、の、ここから説明でございまして、これ中央地盤と東側地盤を遅滞させる形で書いてございまして。基調と申し結論で申し上げますと、
0:06:29	東側地盤につきましては、これですね、藤沖付近で揭示特性が崩れまして高速ハラ確立ということで、このですね、
0:06:42	この
0:06:47	少しちょっとですね、この中央地盤とは異なりまして、この区域は県がですねその揭示特性他所とあんたまたま原発するという、直線ではないといったところを示してございまして。
0:07:01	で、これに基づきましてですねまず、矢羽根の三つ目ですけども継続性等の信頼性について、確認したところこれは問題ないことを確認したということを提示構成と準備等を押印をして、こう述べさせ、述べさせていただきまして、
0:07:18	これが、そしたら何でこういうことが起きてるのかと、いうことの考察をヤマダ四つ目で述べておりまして、旧オオイワの時には表層地盤のSOAが薄くて、釜等速度コントラスが小さいためにこういう特性であった。
0:07:35	でも東田千葉については表層地盤が厚く、頑張つて欲しいことコントラストも大きくなっていると、いうことから、このですね、局長の
0:07:48	反射だけじゃなくて加工はがまた最後、配車するという強行反射が起きているといったようなことが要因であるという考察を加えてございまして。
0:07:59	で、こういう状況もありましてですね、江藤オノですね、安定したポンプ流シオン発見の算定が困難ということで、この東側地盤における観測記録を鑑賞に用いることは、これはできないと判断したという我々の検討結果を示してございまして、

0:08:15	現在 23 議案についてもどういう分析であると、こちらも今、簡単に状況をご覧くださいというところがございます。
0:08:23	14 ページ目は先ほど引用した教育微増観測のところの具体的説明を参考にちょっとお付けしているものでございまして、地震動のレベル感、対して微動がですね非常に北としては小さいレベルで、
0:08:41	あると。
0:08:42	ということで、十分小さいということで先ほど見られた東側地盤におけるその指標の、地震観測記録 2 の標識といいますのがこれは地震観測位置における地下構造によるふうである、あろうと。
0:08:59	いう考察をここで記載させていただいたところがございます。
0:09:03	15 ページ目からが、中間調査の進捗状況でございまして現在のといいますか会合時点での、このですね、進捗といいますかステータスに当たる所カレンダーで赤字が囲ってございまして、
0:09:19	減衰定数、番号法の下水道、これにつきましては政府案の、この一発目の恒設定期ってところが検層が、
0:09:30	ちょうど終えて永久時間的に入っているところといったような生活を、大きさでございまして。表彰についてはまだ準備中の状況であるということでございます。
0:09:42	16 ページ目でですねこの追加調査のですね、今ちょっとこのような場所です、が調査終了してますという検査終了校を赤丸で示すとともに、
0:09:54	このですね、検査の状況を少し写真で紹介しております。
0:09:59	47 ページ目で、給食っていうのは、今ちょっとこんなで一たお香をこういう形で取ってまして、これを分析してるところでございましてという状況報告と、
0:10:11	ということで、左側ですね、この測定の概要の漫画を載せまして真ん中に、データの、今取れているようなこういう形のはけてます。
0:10:23	ということでこれをまた増えて参りますということ、これをアオキカセてる所でございます。18 ページ目が、今後の対応ということでまとめのところでございます、まず、顧問に比嘉島について、基本監査記録を用いた検討をやって、下水道についてやって参りますと。
0:10:39	これ次回以降ご説明いたしますということ。それから、地価調査につきましては、年にめどに取得しますというこれ、前回とステータスがあつてございまして、

0:10:53	いたしまして、そのデータを吟味しまして、トヨシマモデルを確定し入力地震動の策定、それから、それと並行して設計範囲について検討を行って参ります。
0:11:04	ここは計画といいますか今後のフォーマットとして、前回と同じ記載をさせていただいているということでございます。19 ページ目は、この
0:11:15	技術検証 1 タケウチ、それからグルーピングの図を、これ先方に従前の通りにつけさせていただいているというところでございます。以上でございます。
0:11:30	規制庁の竹田です。ありがとうございます。
0:11:34	それではここまでの説明につきまして規制庁側から確認があればお願いします。
0:11:42	藤規制庁カミデですまず、
0:11:46	6 ページぐらいからだと思うんですけど、最初の澤井のところは、午前中やった。
0:11:57	2 ポツの、
0:11:59	話だと、21 ページで、前回、
0:12:03	ここまで話をして、今回は、この 010 ですっていうのが 21 ページに書いてあることと、
0:12:12	全く同じにする必要はないとは思いつつ、ねえ。
0:12:18	そのあたり、一応平仄は取れてると思って作ってるんですかね。
0:12:25	原燃の宇都でございます。平仄が確かに、すいませんちょっと記載のそうですね、書き方として、取れてないと。
0:12:35	いうゴトウだと思っています。ですので、
0:12:40	ちょっと平仄を合わせまして、前回説明の、まず、来月と述べて、前回説明において、今後こういうことをしますと、
0:12:52	いうことになっていたところのうち今回はこれを説明しますと、
0:12:57	いう内容になりましたらばおそらく平仄が合ってくるかと、いうふうに思いますので、ちょっと顔つきも含めてですねちょっと平仄を、
0:13:08	考えたいと思います。ちょっとですね、今こういうふうな心がけてやってございますっていうようなところのご説明もいるかと思うんですけどもこれは前回の第 2 層の中にちょっと入れるような形、聞いてイトウ形整えようかなというふうに考えます。以上でございます。
0:13:25	はい。規制庁神戸です。多分 6 ページの最初の 3 ポツがダイジェストって、4 ポツが今回の説明事項で、

0:13:37	21 ページだとそれが後でどういう対応なんていうかが見えたらページでわかってるとは言いつつ、
0:13:45	21 ページだと、ページじゃなくて項目番号でその辺も平仄を合わせるようにしてもらえればと思います。
0:13:54	承知いたしました。
0:13:57	はい、鈴木五味です。続いて7 ページも、要はおんなじような話ではあるんですけど、
0:14:04	今日はここですね、っていうことですが、気になるのが、
0:14:12	9 月 4 審査会合で、ポツBポツ、かっこ説明済みってなってるんで、今回はバーになってるっていう何か、これはこれで何か変な感じがしますが、
0:14:24	はい、神野でございます。すいません、消し忘れでございます。これ、バーにされるのはおそらく、
0:14:30	いいのかなというところの、すいませんちょっと前回の記載がそのまま残ってしまって、ちょっとここ消します。ございました。ありがとうございます。
0:14:38	はい。規制庁深見です。ちなみに、
0:14:41	なんかただバーだと、これから、
0:14:45	ポンドの楽しみなのか、もう終わってますよっていうのも何かわかんなくなっちゃって、
0:14:51	運動どうしましょうかねいずれにしろ、6 月 20、審査会合のところは、もうこれは大体話をしたと思ってますっていうことを書いてもらうんですかね。
0:15:02	そうですね原燃野元でございます。説明したタイミングではもちろん中身が入って、説明し、
0:15:10	終わったもので説明してないタイミングがアンバーなんだけれども、
0:15:14	一番最後には、全項目が、このタイミングでこの説明がなされましたという形でまとまる形にはなるので、
0:15:25	一番最後はこの思うバーってそれでいいと思うんですけども、
0:15:31	現状付け足すそうですね、とびコンティニューどうなのかどうか、
0:15:36	わかるようにするかどうかですよ。
0:15:39	頭出しましょうか。刀禰。
0:15:43	成長紙ですけどまず 6 月 20 日と 9 月 4 日を分ける必要もあるか、もしくは 9 月も出すんだったら 6 月 20 日より前は全部、

0:15:54	それ、それ以前として、ここまでやってますよ。はい。なるほど。全体が見えて、
0:16:03	6月20日までのところでここまで終わってます。やっぱり全体としてこれだけ宿題が残ってますという中で9月4日はここまでできました。今回はここまでですっていうややると
0:16:14	一応今後も見えてくるしっていうことなのかな。
0:16:22	郡司野本でございます。もしくは、今後の対応のところにもう全部帰っちゃって終わってるものはもう特になしというかあとはまとめだけですみたいな話でもいいですけど、
0:16:34	すいません、アンリュウジンノでございます。幾つか一、ちょっと今考えられる選択肢をいただけたらと思うんですけども。
0:16:43	そうですね。9月4日以前をまとめてしまうというのも一つの
0:16:49	6月20日で同9月4日イトウっていうのは分けることの意味っていうのもマリーなので、ここ分けてしまって、これまでのもの、それが今回のこの今後のものが、この三つのカテゴリーで、と整理したら、
0:17:03	わかり良いかないというふうに思いますので、予備もそういうふうに修正して参りたいというふうに今ちょっと思いました。はい。猪瀬局長わかりました。はい。大丈夫。
0:17:15	はい。7ページまで、私からは以上ですけど他規制庁はありますか。
0:17:22	特になければ、次8ページから具体の中ですけど、規制庁側から何かあればお願いします。
0:17:33	はい、じゃあ規制庁あって、
0:17:35	規制庁青井です。すいません。
0:17:37	8ページ今回の地震観測記録を用いて検討ということで三つ項目が挙がってますけれども、具体的には10ページ以降になるわけですけども、
0:17:49	伝達関数の検討については、これはその通りだなと思う。
0:17:55	次の応答スペクトルによる検討なんですけれども、実質12ページが、ここでやってることっていうのは、伝達関数に基づく減衰評価、それに基づく、
0:18:07	応答スペクトル入力等の比較をやってるわけですので、あまり検討というよりはですね、12ページの丸ポチに書いてありますように、地震観測記録のシミュレーション解析、
0:18:22	シミュレーション結果ということで、
0:18:26	8ページの方も、

0:18:28	運行されたら、
0:18:30	そういうのは、こちらの考えなんですけどいかがでしょうか。日本原燃野元でございます。はい。そうですね。はい。オートスペクトル検討っていう何か新たな何かというよりは、地震観測記録をシミュレーション解析といったようにした方がアノの値を表すといえますか。
0:18:46	合ってるんじゃないかというご指摘かと思えますけども、おっしゃる通りですので、ここをそういうふうなちょっと、もう、
0:18:57	に変更。
0:19:00	したいと思います。はい。
0:19:03	はい、野崎です。8 ページについて私の方は以上です。あともう1個、今のところで、
0:19:12	伝達関数により、
0:19:14	検討により想定した減衰定数を含む、クラベタ後、ここから何かね。うん。
0:19:27	伝達関数で、小高たつた中でシミュレーション解析に移しちゃってるわけだから。はい。はい。多分含むっていうのはその他のパラメーターみんなね。
0:19:39	あれなんでね、これまでのデータセットを使ってるわけでしょう。はい。そういうことを由井りしてるんですよ。元のことでございます。同定の時には、
0:19:50	減衰定数だけをパラメータとして、動かしてるといえますか、同定の対象にしてるわけでも、わけじゃなくて
0:20:03	この後で、
0:20:05	磯田白木に対する分析であるように、その速度構造の切替わりの高さとかそういうところのですね、見直しなんかも含めた形で、
0:20:17	様々な形でやってるわけだから。そうですね。だからこれわかりづらい。はい。はい。ので、ブームとかさ。
0:20:27	だから、もっとシンプルにした方がわかりやすいんだけど。はい。
0:20:33	これが多分、次の話と関係するんだけど、
0:20:37	伝達関数を使って、その前で、
0:20:43	検討した伝達関数を使ってシミュレーション解析をやったのか。
0:20:51	伝達関数でやったものはそれはそれであって、シミュレーションはまた別の、
0:21:00	ことも踏まえてやったのかっていうのが、うん。
0:21:03	そこへないよね。

0:21:07	はい。技能でございますが、仮に伝達関数が生まれたやつと、伝達関数による減等踏まえたし、
0:21:18	ハヤシヒロキのシミュレーション解析って、とてもシンプルになるんだけど、そうですね、はい、そうじゃない場合は、もうちょっと説明が必要になってくるんだよね。
0:21:31	藤副主幹。
0:21:33	議員の方でございます。とですね、伝達関数による検討で、その伝達関数のをターゲットに対してその同定した結果に基づいて、
0:21:47	このシミュレーションをやったと、ということですので、今おっしゃっていただいた後半の方、衛藤ケツク稼げる検討に基づいて同定した結果、
0:21:56	シミュレーションをやりましたというのが真ん中の意図ですので、
0:22:00	そういう人に、の文章になるかというふうに思っております。
0:22:06	規制庁カミデですけど、それは、
0:22:08	今 12 ページの話ですね、ページ 8 ページの 18 ページで、12 ページというところですよシミュレーション解析を実施しました。そうですねはい。
0:22:20	12 ページ行くと書いてある線は、三種類になって、観測記録の線があります。はい。あと、リニアの線があって、あとリニアじゃない、依存なしの線が赤で書いてあります。
0:22:36	同定した結果っていうのは、
0:22:39	かなり青なんですっていうのが、同定したって言って、
0:22:42	そうですね同定した結果に基づくシミュレーションははい、あかんなるよ。
0:22:47	それが 11 ページに書いてあるんですか。
0:22:50	要は、緑はもうあんまり関係なくて、
0:22:54	赤尾だねって。
0:22:56	いえ、そうではなくってですね、衛藤 11 ページは、同定をやりました同定は 3 種類、赤緑青、
0:23:06	それぞれの条件に応じて同定いたしましたはず、11 ページ目の、申し上げてることです。12 ページは、その結果を使って、シミュレーションやりますということなんですけれども、
0:23:24	減ってですね、緑がないのは、この注書きのところにちょっと言い訳を書いてございまして、周波数依存を考慮するケースについて、そのリニアとバイリニアという因果性はないことを確認することから今ここのシミュレーション解析はリニア型でこう記載してますと。

0:23:39	ということで、帰っても割引日合うような形といいますか。衛藤。これです ねそれでそれほど差がないだろうというふうには思われたことから今で すねリニアがただけやってる状態にあります。
0:23:52	ですんでリニアと、このヒガシ損なしで記載させていただいてるというの が、この
0:23:59	ない内容になってございます。
0:24:02	はい。
0:24:05	緑の部分は補足で見ればいいので。いや、とりあえずはわかりました。 はい。だからあれです緑も、補足でも、江藤やってないんです。佃さん。 はい。それは1個ぐらい確認したっていうのはPANDAてるだけなんで 緑、
0:24:21	1個ぐらい、補足につけていってくれてほら、確認してるでしょっていうや つ、やっといってください。はい、承知いたしました。はい、じゃあ、
0:24:29	ちょっと追ってそれ準備させていただきます。はい。
0:24:32	はい。規制庁、
0:24:33	すいません
0:24:34	区長さんでしょう。
0:24:37	一応話は規制庁のハセガワですけど、あったので、そうすると、まずね、 言葉としては、
0:24:45	新聞に出てきて、結構実はその今の意味は、後半で、結構重要なことを いろいろ支社することに、
0:24:55	なるので、
0:25:01	ちゃんと確実どうしっかりして欲しいとこの言葉一つ間違えると、
0:25:08	全然違う話になってしまうので、今野本さんが言った伝達関数を使って シミュレーション解析やったんですっていう言葉はすごい、うん。
0:25:18	重要棟な意味を、
0:25:22	重要なこと言ってるっていう。
0:25:25	ウタと認識して。うん。もうちょっと、もし不安でしたら、ちゃんと確認して くださいね。
0:25:32	はい。
0:25:39	ファン
0:25:40	等がない。いや、今におけるです。榎本社長と檀蒲生式違いがあった場 合には、はい。
0:25:50	後の説明も含めて、すごく影響を及ぼすんですよ。はい。

0:25:57	まずシンプルに書くことを採用しますけども、その言葉遣いとかは、もう1回持ち帰ってくれないって、伝達関数を使って指名しちゃったんだよねって、そういうオオツカ数を使って、今まで同定をやったと。で同定パラメータの同定をやったという。そうですね。
0:26:16	はい。お前そこ言ったって、はい。
0:26:19	君伝達関数を使ってシミュレーション解析やったんですよね。
0:26:24	この伝達関数をあの際再現できるパラメーターの地盤モデルでシミュレーション解析やりましたっていうのが、技術関係になります。同じこと。
0:26:38	これさ、はい。
0:26:41	要は伝達化するんで、例えばさ、にゅ入出力の中の、はい。真ん中にある。
0:26:48	なんかよくわかんない。ブラックボックス、これですね。そうですねはいね。
0:26:54	だから、1入れたら1出てきますよっていうのは、1だよ。はい。
0:26:59	これはだからそれぞれ周波数ごとに、
0:27:03	ある周波数で、うん。に対しては、市が現地になったり、何だかっていうのが、この周波数ごとに書かれてるから、これで決まっちゃうわけだよ。ね、入出力関係がね必要なんだそうですねはい。はい。
0:27:17	でそれぞれそうごとに頑張ったって、ずっとね。
0:27:21	入力であるソウノ出力でそれがソウノしてるとかツツミのソウノ入力になってって、最終的にはザーッとこうね。
0:27:30	高見君。
0:27:32	ことになるんじゃない。
0:27:34	そういうことで、そうですねはい。
0:27:37	はい。
0:27:41	そうですねはい。それを観測記録、実際はソネ高須関数を含むわけじゃないんだけど、解析シミュレーション上はね。
0:27:50	はい。結局同じ伝達関数が作られるって言ったほうがいいかな。
0:27:54	近い伝達関数となる地盤モデルを、を作ってやっているっていう。
0:28:00	ことなんだと、やっぱりここをしっかりと説明しなさい。はい、8ページの先ほどの伝達関数を使ってシミュレーションしている。これも違いじゃないですよ。でも実際ここでやってるのは、
0:28:16	まず11ページの作業がありました。
0:28:20	で、地震観測記録を使って、はい。この伝達関数には目的に関するもので買うように、合う形での減衰定数を、はい。

0:28:32	決めますと。そうですねはい。はい。だから、
0:28:35	実際、その中には伝達関数出てるんですけども、
0:28:39	図オガワ、ある意味、伝達関数じゃないですか、伝達関数の検討結果、そうですねはい。
0:28:45	で、これは 10 年前の 125ー18 の伝達関数なわけですよ。はい。この伝達関数にGL-125メートルの
0:28:56	古井スペクトル打ち込めば 10ー18メートルのポート入力度が出るわけですよ。うん。でもそれをやってるわけではありません。
0:29:05	はい。ですよ。あくまでも伝達関数のピッチングで減衰定数を決めます。はい。そうですね。その決められた減衰定数で、今度ははぎとり地盤の減衰定数を。はい。
0:29:18	そのデータ作っておられた減衰定数を入れて。はい。その入力情報を決めたのは、比較したのは 12 ページです。はい。いうプロセスでいいんですよ。はい、おっしゃる通りです。はい。はい。そこは、
0:29:30	いや、もしかするとこのフローにかけた。
0:29:35	結果、そうするとあとこの結局逆だけどうなってるんだろうとかですね。うん。
0:29:41	いろんな可能性があるわけです。だから、やろうと思えば、はい。はい。でもここではこうやってますっていうことをきちんとした。
0:29:50	誤解とか、別の方に行ってしまう。はい。恐れがありますよという、
0:29:55	安藤主事。はい。玄野本でございます。承知いたしましたあの、このデータを聞いてこのデータを出したこのデータを用いて、この 1 桁らしいた、
0:30:05	っていうのが、伊賀関係が、自治体さん関係にずっとあるというのが、ちゃんともりでいとつもりで、せえっと読み取れるようにと。
0:30:16	はい。いうことだというふうに理解いたします。はい。省略せずはい。はい。
0:30:23	きちんと説明してください。はい、承知いたしました。現状でございます。てに、情報って、はい。
0:30:31	この中で勉強をきちんと説明いたします。はい。
0:30:36	次は
0:30:39	これわかりやすい。
0:30:42	1 ページは、大分、
0:30:49	次。
0:30:51	はい、じゃあ、いつ、杉崎です。

0:30:55	10 ページの方ですね、今回は東側地盤における職務上の検討という撮影ということで、
0:31:04	ミシマが遅れた理由ですね、こう述べられているわけですので、
0:31:08	ここの10 ページの結論としては一番最後の矢羽根にあるように、観測位置のが、断層がまとまって、それが高速度層が上こう、
0:31:22	重なるような形になっているからという趣旨はいと理解してますんで、
0:31:28	東山、我々としてはですね、ヒガシは遅れた理由は、その話と、あと、後から出てくる干渉法、表層地盤。
0:31:39	1 イナズマの大きな違う二つあるんです。あそこは、まずがごっちゃになっちゃうんですね。
0:31:47	で、
0:31:50	だから最初にヒガシっかわ一番の特性とはどういうものですよということ
0:31:55	を、
0:31:59	しっかりと述べてもらう必要があるのかもしれない。
0:32:02	最初の時はこうだから、ヒガシは、はい。
0:32:07	ないっていう場合は、
0:32:15	一緒にしてですね、東側にはもう特性ってまずこういうやつだけは違う、違うんですと、何が違うか、これですということですね。
0:32:19	言ってもらったほうがわかりやすいかなと思ってます。
0:32:31	日本原燃の郷でございます。はい、承知いたしましたこの具体的な検討に入る前にまず東側地盤は、まずこういう形になっています。この観測時における地盤
0:32:37	の学校のような形になってますという、状況をお示して、
0:32:53	これを踏まえ、ここに対しての検討を、伝達関数による検討を行ったら、こうであったと。それはやはり、さっき見たこの2番状況を確かに反映する形で、
0:33:02	そのPS検層そのままいくと、そのままないとあれですね、うまく、やはりそれは
0:33:15	予想通り、といいますか、それは確かにあり得るべきことであったと、いうことからこういうふうにやると。また、解消法も同様に、こういうふうなそのものに基づいて、
0:33:15	あるべき結果は、こういうふうに行われているといったようなところをそういう三つに分けてといいますか最初に、あれですね、地盤の状況をさ、先に言うてから、

0:33:26	なぜならだという、そういう記載に変えるということで、確かにその方がわかりやすいかなということです。
0:33:34	ちょっと、はい。
0:33:36	じゃもう、もう1個、具体的な話があって、そもそもこの話は、地震観測記録を用いて伝達関数やら、シミュレーション解析やら、
0:33:50	干渉法っていうことをやっていくわけですよ。はい。その大元になるものなんだと言ったら、地震観測記録なんですよ。
0:34:01	この多分ね前にこの地震観測記録を、ちゃんと時刻歴データを提示してくれと。うん。いうお願いをしたと思うんですよ。今回、
0:34:12	これだけだから、これは景気したうちはやって、はい。
0:34:16	ちゃんと参考なりでいいので。うん。それでちゃんと時刻歴をニシノヒガシも、うん。
0:34:23	それね。はい。
0:34:25	麻生。すべて年300%がすべて、
0:34:29	代表するようになっていっているので結構
0:34:32	ね、
0:34:33	それをちゃんと出して欲しい。
0:34:37	この話はそっから実は始まっているんですよ。
0:34:41	記録を、
0:34:43	まず観測記録を見ると、
0:34:46	15っていうのは割と素直に、ある程度形をもって、
0:34:50	下が赤字をもって、今見たら、これだから、見る人によってはあれなんだけど一定程度の知識ある人からすると、
0:35:04	まあまあこの増毒性っていうのは、雰囲気的にわかるわけですよ。中央っていうのはちょっと似た形で見れる。うん。一方で、多分このヒガシっていうのは、かなり表層になった瞬間にドカンと思う。
0:35:19	模造負してくるっていうんでニシノそれに多分近いってことでこの時点で皆さんは立ちどまったはずなんですよ。そして最初にノイズがどうのこうのとか、いろんなことをこうね。
0:35:33	なんかやったら本当、これは本当なんだろうとか、悩んでるはずなんだなんて言うと、こういう話になってるんですよ。
0:35:42	なので、まず観測記録を提示し、見え方をちゃんとかう考えると、それをやると、まず地震計、
0:35:52	ていうのがどういう取り付け方をしているか、どういう地層に登録されてるかっていうのが結構ね、今の

0:36:01	50 ページ。
0:36:02	はい。ていうことになるでしょ。そうすると、それぞれこういうところで、ちよっと違ってるとねと。
0:36:08	はい。いうことに、
0:36:10	なるんじゃないですか。はい。
0:36:12	それをもうちよっと、
0:36:15	こうなんていう、そこが構造的に見ていくと、この 13 ページにあるような、
0:36:24	インピーダンス比が、
0:36:27	全部、
0:36:29	変化していくっていうのが、
0:36:33	数値的な問題としてわかっている。
0:36:36	来ましたっていうそれが全体の概念があって、うん。
0:36:41	そういうことなんじゃないかと。その過程の中で、本当にこの観測記録は正しいんだろうかっていうのを、
0:36:50	いろんな意味で減少したわけですよ。
0:36:56	何かいいな。
0:36:58	野瀬なくていいと言ったね、常時ビジョンっていうのはその中のほんの感じでしかないんだよね。だから構成もあれしたし、取り付けも見たし、
0:37:09	ね、常時微動も見たし、
0:37:12	音でいろんなトミイタンだけれども、この観測記録はやっぱり適切な観測記録があるんだと。
0:37:20	ていうところから始まって、そして構造的に見ていくと、やっぱり理由があったと。うん。
0:37:26	それは、すべてのことにちゃんと関連づいて、何て言うのか、ある一定の、
0:37:35	理屈があると。
0:37:37	そう。
0:37:39	そうなんじゃないですかと。はい。それが前提の中に伝達が悪い、シミュレーション解析なり、干渉法があると、そうそういうことなんじゃないですか。
0:37:55	そうですねはい。おっしゃる通りです。時間が相当かかったんじゃない。言ったり来たりして、
0:38:03	それでそれをだから結果からすると、

0:38:06	まあね、本当そうやってきます。
0:38:10	割とシンプルはわかってる人は多分シンプルに決算の導入と。
0:38:16	あと、説明。
0:38:18	わかります。こういうところになり、はい。チェックに時間を要しましたっていうのは、
0:38:27	それ、
0:38:29	当然、
0:38:32	通じなくて行かなかった。
0:38:34	それは様々なところでその影響みたいなのが出てるんじゃない。はい。
0:38:39	というような説明の方が、
0:38:43	我々的にはわかりやすいし、先日そんなような話もしたんだけどね。
0:38:50	ちょっと、だから野元さんに最初に付け加えたただけであって、
0:38:56	誰に正しい手順でやっていくとそうなるんですよ。うん。
0:39:05	言ってるところね。はい。
0:39:08	栗城八景があって、はい。
0:39:12	取り付けの地盤を
0:39:16	構造の話が出るから、
0:39:19	西井さん、ついでに説明してもいいよね。同じ。はい。
0:39:24	それをね、数値と、
0:39:29	明らかにね。
0:39:32	違う。
0:39:36	ちゃんと注意深く、
0:39:39	いけない。
0:39:40	はい。
0:39:46	はい。日本原電の宇都でございます。はい。館関数の話を話しすれば、
0:39:51	これはこれでね、地震観測記録としての特徴じゃないんだけど、
0:39:57	なんていう、そういうその部分というのは、一つ要している。はい。
0:40:05	わかりました。
0:40:09	わかったと思いますので、すいません長谷です。望月アノ副長させていただきます。まず、観測記録の2ヒガシの記録をまず定義するというのが、これが大事ですね。
0:40:24	中央もですね。はい。で、その記録を眺めたときに、これはなぜこういう差異が生じてるのかということをご提示するために子供のCISS構造と図を、

0:40:39	また並べてみると、それから、それと並行して、地震計なり常時微動でこの記録が正しいのかどうかということの検討結果でもいいです。はい。
0:40:52	そうですね。はい。
0:40:53	地震計なりビジョンなって、この記録が正しいのかどうかの検討を行ったと、いうことを次に、江藤丸野がないよ。はい。はい。
0:41:04	がこれが2番目で、正木の機種構造図を示すというのはそこに平行と いうかその後やってくと。その地質構造図を踏まえて、これは
0:41:17	どのような特性干すということの、我々の分析といいますか、見解を述べさせてもらうのが3番目でこういうことを踏まえて、今回、
0:41:28	その伝達関数に基づくフィッティングを、を行いましたというのが4番目であり、また批判標高に対しては、どうだという意見、考察を行いました というのが、4番目の平行平日と、
0:41:44	そういうことだというふうに理解いたしました。
0:41:51	地震観測記録の人たちはそこで1回閉じるって思ったほうがいいんだ よね。
0:41:57	データに対して、記録に対比が、そうですねはい。
0:42:03	一番に、その記録の平瀬の話の次。
0:42:08	言えません。はい。
0:42:11	井清というデータの見方、特徴っていうか、まずそういうところからさ、始 まってなんだよね。技術的考察っていうのかさ。
0:42:25	この話はですね、すごい単純に見るとね。
0:42:30	地震観測記録を使って何かやりますって言うてるんですね、地震観測 局の説明が何もなくていきなり伝達関数は始まるんですね、そもそもお かしいでしょ。
0:42:41	うん。普通にやったときに、何かね、何かに基づく話しますっていう、最 初にさ、もうこうね、主役がさ、
0:42:51	地学の紹介がないんだよ。
0:42:54	うん。
0:43:01	業務やってたからね。うん。
0:43:04	そこがさ、その主役がさ、ノーマルだったんですけどね、これ103人です よね。中央っていう人とヒガシイシイっていう人がいて、なんで違ったん だよね。
0:43:18	ね。そうすると違っちゃったからね。そこをまたさ、述べなくちゃいけない んかさ。
0:43:23	結局さはっきり見ておかしいと思ったわけだよこれ。

0:43:30	そこに気づく、気づいて何かするというのは、これ、技術的検討を、
0:43:37	何でどれも大事。
0:43:41	皆さんはだから、現連の場合は、いつも結果が優先なんだけど、この間、プロセスっていう話をして、技術的な見地からどう、
0:43:52	物を見ていって考えたかというのを、ちゃんとそこをやってくださいねということでは、
0:44:01	まずそこ。
0:44:03	説明するっていうのは大事で今回最も時間をかけたところにあっただよね。
0:44:12	というそういうことですね。
0:44:21	すみませんちょっと組み替えて参ります。
0:44:27	全然月を全部使う話ですよ。ちょっと伝達関数、1 ページに入る前にですね。
0:44:37	今のプロセスに従って東側地盤についての分析をしましたと。その結果今 10 ページに書いてあるんですで、
0:44:49	10 ページのですね東側地盤の特徴高速度等の浅部に至って、先ほど言いました逆断層の上盤側に、盛り上がったところに地震観測性があったというような、
0:45:03	ことが原因というふうに書かれてるんです。
0:45:07	今、このF-1 断層ですね確かF-1 断層を支えにして、
0:45:12	そういう左右の違いが出てるということです。F-1 断層自体って、9 ページでもわかるように、南北に伸びる断層じゃないですか。
0:45:24	はい。
0:45:25	今の説明って、当該面に対して、こういう傾斜が出るっていうのはあるんですけれども、ちょっと要はですね、
0:45:34	10 ページの右下の関係等、南北に延びるF-1 断層との関係がよくわからない。要はその 3 次元的に見れば、まさに、
0:45:44	以上が 2 項、
0:45:48	課題層が上がってるっていえるのかですね。
0:45:52	ちょっとその関係について本当にこれ、
0:45:55	高速度層が全部やってるのが原因なのかどうか。
0:45:59	ちょっと説明してもらいます。そう。神野でございます。遠田さん次元的にここの面だけ切り取って、見ると、こうであるけれども、
0:46:11	果たして詐欺的にどうこうしてるのか、なぜ形のものでございますが、こちらの方からよろしいでしょうか。

0:46:19	一番ですね、設計の方でございます。
0:46:23	3アノ、F-1断層とおっしゃいましたが、これはSF4断層というですね、弁なし断層でございます、
0:46:31	面がですね、完全に密着してるものでございます。基本的にですね最後の方にですね表層の、これモリノなんです、造成問題の
0:46:42	影響が大きいですよということも、言ってるんですが、ここではですね、伝達関数を求めるときにですね前は全部一律の思想でやってたやつをですね、
0:46:53	細かくするという理由で、速度構造が頻繁に変わりますよということをお願いいたくてですね、ここでは、その速度構造が違うということだけをですね、ちょっと指してしまっております。
0:47:05	先ほど長谷川さんからお話がありましたようにですね、まず最初に、地震動自体の感触は正しいということですね前提として、なぜこう正しいのに、こういうふうな違いが出てくるのかということですね、
0:47:18	地層の観点からですね、評価してということからですね、まず始めようというふうに思ってますので、これについてはですね、今浜崎さんがおっしゃられたやつはですね、これは
0:47:29	すべて4断層という面なし断層でございます。以上です。はい。規制庁浜口ですわかりました
0:47:37	衛藤F-1断層。
0:47:38	9ページの本断層ではないということで、10ページの方でしっかり、しっかりとご説明の方をしてください。
0:47:45	それで、もう一つ私の方から10ページの文章の最後のところにシマ断層、西側地盤についても同様の分析を実施中ってあるんですけども、
0:47:56	これ西側についても同じように、
0:48:01	何て言うんすかね高速度層が、
0:48:04	あるだとか、或いは家族性の地盤構成が実際とちょっと、はぎとりと違っているってことを分析していると、ということになるわけですか。
0:48:17	当然設計のものでございます。西側西側でですね、表層のところも、やはりモリタを、がされておまして、埋め戻しどうなんですそれがされておまして、
0:48:27	その下にですね、
0:48:33	第三期の砂子又層が分布しておましてその下に泥岩が分布してるという、ちょっと複雑な構造をしておりますので、こちらについてもですね

	同じように、速度構造からですね見直して伝達関数、建水を上げ、伝達関数を確認しながら、
0:48:49	伝達関数を求めたというふうなことで説明させていただきたいというふうに考えております。
0:48:54	はい、既設ヤマザキですわかりますそうしたら西側地盤については、速度構造の見直し等を行ってということで、同様の分析と言ったら何がどういものかわからないので、しっかりとそこを説明をしてください。よろしいでしょうか。
0:49:09	はい、萩野でございます。はい。総合のところの追記というのも挙げさせていただきますと思います。
0:49:17	はい規制庁ハタケサノセガワです。追記ではなくて、
0:49:20	もう今、見上げる最初の話でいくと、
0:49:25	記録を出して地震計見て、次構造を見るときはニシノヒガシの構造があるんでそこはまで見ると、いうんでもうヒガシの子供出すわけです。で、今回は伝達関数シミュレーションは、時間の関係上ヒガシだけの紹介で、
0:49:40	監査もヒガシなきや駄目で、次回は同じようなプロセスでニシノやるということ言うだけですので、そこはもう図面として出てくる。
0:49:50	そういう整理をしたいと思います。
0:49:54	はい、規制庁の伊井です。
0:49:56	決得さんの言われるのはわかるんですが、同じようにという、これはもうですから、ヒロキというくりができるものと、いや、具体的に説明しないと、先ほどの伝達関数の話もそうなんですけども、
0:50:09	そこは誤解がないように、説明の方をしてください。
0:50:12	以上です。ありがとうございます。
0:50:14	規制庁カミデですけど、さっき速度構造を合わせるとかその話でしたけど、速度構造なるものは、まず 10 ページの
0:50:29	モデルでいうと、
0:50:31	白黒で書いてあるというか、
0:50:35	これの方。
0:50:36	これがまさにすごくポーズ。
0:50:38	ちょっと、
0:50:39	請求書、はい。はい。元のってございます。この機種の横についてるやつこれのことでございます。

0:50:47	図 6 の、今速度構造ありますよね。なるほど。はい。これはチューニングが終わったもの、それとも、最初まずやってみて、
0:50:59	やってみただけどうまいかないなってなったもの、どちらですか。
0:51:03	玄野本でございます。六ヶ所答えますか、ごめんなさい私今どっちだっけと思ってちょっと今答えなかったです。
0:51:14	えっとですね、10 ページ目の 16 の右側のVsのがありますけれども、これは今回の同定の結果の方なのか、
0:51:28	PS検層に基づく、初期のものなのかどちらか、すみませんお答えありますか。
0:51:38	大田設計のものでございます。ここで書いてありますですねVs、グレーの実線で書いてございます谷津アノ書記のですね、このコウノ、Vsの
0:51:50	はい、規制庁上津で、この隣に同定した結果の速度構造って晴れます。
0:52:03	ジンノ十六ヶ所がこれはあれですよね張れますね、当然設計がございしますが、想定した結果もですねこれに違うようなり先週変えてですねあることは可能でございます。はい。
0:52:16	はい、規制庁カミデよろしくお願ひします。それが、それを生み出す作業に時間がかかったってことです。後はそのまま使えたんですけど0コア、こっからもうワン何回作業したから、時間がかかったってことだと思うんで、そこはわかりました。
0:52:34	衛藤でございます承知いたしました。
0:52:37	はい、規制庁コマツ私から、ケース 1、
0:52:40	規制庁の気象です。
0:52:43	110 ページでですね、ちょっと文章的な話になるんですけども、
0:52:48	真ん中に、
0:52:52	院長へ。
0:52:54	うちコントラストっていう大きな、
0:52:57	同じ意味じゃないかなと思うんですけど、ちょっと表現が状況になってるように思いますのでちょっと精査していただきたいなというのが 1 点目と、あと 1 点ありまして、
0:53:07	その下の東側地盤(16)は、
0:53:12	話なんですけど、地震計位置は井清 4 断層の下盤側に位置するが、ではこれがちょっと意味がわからないんですけども、地震計ってGLー。
0:53:23	2 メーターとか 18 メーターとかあって、16 の、
0:53:27	井清部門の蓮見井川さん側、

0:53:32	にもあると思うんですが、なぜ下盤側に位置するっていうふう書き切ってるのか、これはちょっと意味を教えてくださいませんか。
0:53:39	はい。丹ジノでございます。六ヶ所から答えますごめんなさい。
0:53:47	はい。六ヶ所側日本原燃山口です。今のご質問改造させていただきますと、ちょっと文章の記載としてはこの図の赤線で書いてる開放基盤面っていうところに、
0:53:58	設置されている地震計っていうところをメインでちょっと書いてしまっていましたんで、そのアカセの位置っていうのは地震定位置であれば下アノサトウナカマというところになります。はい。以上です。
0:54:11	成長のキシノです。そういったことは出していただかないと、当然今みたいに誤解してしまって、きちんとデータと雪や、
0:54:19	結果を説明するんであれば、説明はちゃんと正確を期していただきたいなと思います。
0:54:27	それで、
0:54:28	今のご説明で、
0:54:30	12月125の地震計が主と坂側に位置する。
0:54:36	ということが、
0:54:39	何かこれヒガシ側の特徴として、何か意味を持ってるっていう意味なんですか。
0:54:49	はい、六ヶ所が日本原燃山口です。
0:54:52	ちょっと記載としては下盤解放基盤面っていうところを主にした記載になってしまったというような形跡で実際は、岸野さんおっしゃる通り、
0:55:03	赤いところっていうのは上盤側で扱うところは下盤側という両方に地震計、両方の上側下側、下盤側両方に地震計画されているというところになりますので、ちょっと記載としてはそれを踏まえた記載。
0:55:19	成長のキシノですはい。
0:55:21	要するに正確に書くというかありのままに書くということと理解しました。はい。私から以上です。
0:55:31	はい。規制庁の小崎です。10ページまで、なければ次11ページいきますよろしいですか。
0:55:38	藤スベンヤマザキです。11ページで、
0:55:42	図の8のところですね予定された、
0:55:48	減衰定数という意見は、についての今回の制度として、られた減衰定数なんですけども、
0:55:57	これって、

0:56:00	10 秒までですね、横軸 10 秒まで線が引かれてるんですけども、
0:56:06	いわゆる地盤の
0:56:09	卓越振動数た別周期に相当する上限。
0:56:13	要は、その適用限界というものは、
0:56:16	今回、ないんですか、それとも 10 秒以上になるんですか。
0:56:25	玄野元です。あ、ごめんなさい六ヶ所が回答できますか。
0:56:42	6ヶ所で、少々お待ちください。
0:56:52	当然設計のものでございます。ちょっとこれと関連するかどうかわからないんですけども、10 分ぐらいになりますとですねエネルギーが大きくなるので多分ですね観測できないんじゃないかと思しますので、多分有効。
0:57:03	範囲が 5 あると思います。それについてはちょっとこちらの方で確認させていただきます。
0:57:08	はい。菊池浜崎です。この関連の企業論文なんか見ればですね、江藤長周期成分の適用範囲は、タケウチの数、一次の
0:57:19	周期ですね、それより長周期成分については適用外ということで図、減耗資料の中で図を使っていますけれども、その長周期の方、
0:57:29	図が引かれていて本当にこれ大丈夫なのかなと思ってますので、しっかりと確認の上、適用範囲について、当初、表示してください、説明してください。
0:57:42	はい。はい。正田関野でございます。はい、承知いたしました。
0:57:49	既設ハマダ技術が 11 ページ、ほかに。
0:57:52	ありますか、規制庁は規制庁のキシノです。
0:57:56	これもちょっと名称ですけど、17 の通りっていう、
0:58:03	一つ目のポチ、よいしょ。
0:58:06	全周期体によって業務のけれども、
0:58:11	その図等を見ますとですね。
0:58:13	黒線と、
0:58:15	温泉とで乖離が見られるところで例えば、
0:58:20	翌日の 0.2 秒少し下回っていると。
0:58:24	0.3 秒少し上回ってるところなんかは明らかに観測記録。
0:58:29	違わないですね、これはもう概ね再現しているっていう表現で丸めちゃっていいのか、読んでても次回教えてもらいます。
0:58:42	はい。

0:58:45	県の方でございます。ですねここはこの
0:58:51	相方であれば、概ね再現が良いと言って差し支えなからうという見解に基づいてここ書いてはおりますけれども、
0:59:03	これは専門家の方々にもいろいろ見ていただきながら、アマヤってところですけどももう少しすいません技術液位に、ここのところ、これでの相場感としてどうかというのを六ヶ所からお答えしていただいでよろしいですか。
0:59:35	はい。日本原燃山口です。この伝達関数の結果からいきますと、大体0.6秒あたりの地盤、一次周期っていうところを、山野市ピークの位置としてはよく再現できてるというところでニイズの方についても山の大きさとか違いはありますけど、ミヤマー1というところも、
0:59:53	拝見はできているのかなというところで行きたい。
1:00:01	規制庁の岸野です。
1:00:07	何だ23、
1:00:09	0.3秒を超えた辺りっていうか、
1:00:13	決まっています、
1:00:16	なんかそこら辺を無視しちゃっていいのかというところなんですけど、そこはもう無視しちゃっていいですってという回答で理解しとけばいいんですか。
1:00:29	福士。
1:00:34	はい。日本原燃、山口です。ここの部分の記載について、着目すべき周期体、振動数であるとか、ちょっとその見るべき観点というところを踏まえてちょっとこの文章を見直させていただければと思います。
1:00:51	タテウチです。はい。
1:00:53	当然、社外支援者の方のメモ等し、
1:00:58	持っていて、評価されていると思いますんで、もう一度、ちょっとそういった方々にですね、どういう上で評価をした結果こうなってるのかっていうのを確認した上でですね、適切な表現、
1:01:11	直していただければと思います。
1:01:15	あと、その下のポツ。
1:01:17	二つポツありますけど、
1:01:19	三角の文章。
1:01:21	再編成入院がないっていうと、

1:01:24	再現性は整合してるって言った、ちょっと皆さんが言った表現を使っていて、もっとシンプルに書けばいいんじゃないのかなと思うんですけども、何か意味合いを持たせていって工事するとか、
1:01:37	説明するんだったら、明確にさせていただきたいですし、そうでないんだったら、この会議の資料ですのであのイメージはストンと通るような表現をした方がいいのではないかなと思いますんでこちらもあわせてご検討いただければと思います。
1:01:51	はい。県の方でございます。集中しませんアノんカドイ読んでわかるシンプルな記載にと、糸賀はあるんであればその意図がちゃんと伝わるような表現にということだというふうに理解いたしましたので表現、
1:02:04	をもう一度精査いたします。以上でございます。
1:02:08	スズキ。はい。よろしく申し上げます。以上です。
1:02:14	規制庁、上出です。
1:02:17	11 ページの図 8 のアカセってどうやって決まったのって感じがするんですけど。
1:02:24	文章との対応でいうと、最後のところですね、最後のページ数 7 の通り、長周期側では大きく、短周期側では小さく、
1:02:36	評価するっていったって何か、この事実を事象を説明しているかのようなんですけど、
1:02:43	多分この赤線で、自分たちで決めてるじゃないですか。
1:02:48	なんで、
1:02:50	観測記録を表現するようなEVですけどそうじゃなくて、自分たちがこの辺のところの設定しましたよってというだけの事実関係なんじゃないかなと思ってんですけど、どうですか。
1:03:01	県の方でございます。赤線は、
1:03:05	我々が恣意的に引いた値ではなくって、
1:03:09	一定限アノ前提としてそれは所与の条件として与えて同定した結果の、これは数値になっています。
1:03:20	だから、一定減衰であることを前提として、最もこの伝達関数を再現できるところを、この同定解析あった結果の数値がこれになると。
1:03:33	ただそうすると、はい。はい。はい。なんででしょう。遺伝的何とかそうでないやつで、出せますよっていうやつですね。はい。そうです。はい。
1:03:44	はい。前の前で、
1:03:46	随分前に、
1:03:48	はい。わかりました。私もお待ちください。

1:03:57	はい。規制庁浜崎です。11 ページの下にないでしょうか。10 ページ。
1:04:07	はい。
1:04:09	周波数移動性の考慮とか飛行ルールの比較とか、
1:04:13	これ一旦だっけ。いや、あるんじゃないかさっきの岸野さんと一緒に、これって何か今回意味があるのかだから伝達関数の大きさが大きいとか実態とか、
1:04:25	もう、適切な表現むしろこの場合、ここではいらんんじゃないかと思うんだよね。もう結局、
1:04:34	この検討結果が物語るわけですよ。
1:04:38	言葉を言わなくても、
1:04:40	だから、これはね、この結果しかついてないけど、これをたくさんつけて、
1:04:48	この後でいい、いいけれども、
1:04:51	たくさんっておっしゃって、いろんな聞いたわけですけども、
1:04:57	6、6 段階かな、確か計算できますよね。うん。
1:05:02	で、今これっていうのは、あくまでも、
1:05:05	125 分の 18 の結果しかされてるんで、参考で言うて、200 分の 18 とか丸橋とか、いろいろ含めて、
1:05:14	趣旨です。
1:05:18	それは 08 につけるという、
1:05:20	このアカセサンゴ資料 3、参考ということで、さっき規定の
1:05:26	吐け冒頭のは形も、東西中央算も最初メインのところ、代表では、いやそれ以外やってるのは、つけるように伝達関数を、
1:05:39	代表の地震に対して、代表の 12058 ですけど、それはこの分に入れるんですけども、他の段階の
1:05:49	技術関数 200 分の 800、それをもうここに並べるか後ろにちょっと続けるか、はい。
1:05:59	現在のところ、六ヶ所が対応できますかちょっと見解があれば発、発話してください。
1:06:06	来ていただけそれも 0 時ありますよね。ですけどね。
1:06:12	対応してもらわないと。
1:06:14	はい。
1:06:17	日本原燃山口です。はい。承知いたしました対応いたします。
1:06:26	全部出さないと意味がない。うん。うん。

1:06:29	違う。あそこ。そうですね。ということで、別にそしたら言葉は要らないんですよね。大きい小さいはの話ではなくて、どの程度、
1:06:40	この、このセットで再現がされたかというだけだから、とにかく見たってそれでいい。
1:06:48	はい。
1:06:49	ここで安全でございます。ここでちょっと我々言おうと思ってこれ書こうとしていたのがリニアバイリニアとそれから一定減衰の同定の結果をよく意味でこう並べてみたらば、
1:06:59	おそらくこれリニアが一番再現する。それを比較して何をしたい。はいはい。そうですね、目的。いやだからそういう比較ではない。うん。
1:07:09	うん。データをちゃんとしっかり見るというふうに。
1:07:13	ていうのをもう1回立ち返ってんだよね。
1:07:18	それを、そういうことをやるとね、またおかしくなっちゃうわけですよ。うん。
1:07:26	変な感覚がいっぱい入ってる。
1:07:28	うん。
1:07:30	あくまでもやった結果を生で出した方がはいますが、はい。
1:07:38	そういう段階なんじゃないかと。はい。
1:07:42	はい。
1:07:44	辨野でございますアノ50承知いたしました。はい。対応いたします。
1:07:54	はい。規制庁浜崎です。11ページの先ほど、
1:07:57	話なんですけども要は今はりや梅林やと比較して、周波数いっては、長周期であつたら、
1:08:07	って書いてあるんですけど、する。だから何が今の段階で必要なのっていうところなんで、はい。
1:08:14	比較を、
1:08:16	三つの手法も、伝達関数なり減衰を比較する。
1:08:20	以下にということで、今回は説明を止めればいいんじゃないですかという趣旨ですので。はい。ありがとうございます。データを並べる、以上ということですね。はい、承知いたしました。
1:08:33	はい。イセハマダ件数の11ページまで、ほかになければ12ページ。
1:08:39	規制庁側から12ページ、何か指摘ありますでしょうか。
1:08:52	規制庁カミヤ
1:08:53	このままでいいって言えばさ、さっきのこの話をちゃんとしてね。

1:08:59	つけるような気がしますね。それで何が言いたいな。
1:09:06	これもね、シミュレーション、これ一つじゃないよね。だからこれは、
1:09:13	全部、何百とるかやって全部出せとは言わないけれども、かなり代表的なものを、
1:09:20	やっぱりそれなりの数をちゃんと、結果として出してもらおうと、その中で一番フィッティングがよさそうなのか、僕は言ってもいいけれどもっていうこと。
1:09:30	うん。それと、やっぱこの考察というか、何か変なところは要らないんだと思うよ。
1:09:37	基本的にこれ、どれもね、比較的良くシミュレートできているっていうこと。
1:09:44	うん。
1:09:45	再現性があるっていうことですね。
1:09:50	整合という言葉があんまり実は好きじゃないんだけど、
1:09:57	委員全体的に整合している、セイコーがですかはあはあ、はい、衛藤。
1:10:04	あんまり。
1:10:05	せ、こういうことに対して整合しているっていうのは、あんまり、
1:10:10	普通にシミュレートできていない。最近、再現性の問題なんだよね。
1:10:18	実際に起こっているべき事をどれだけモデル化して、再現できるかという、だから、
1:10:27	もう、
1:10:28	こういうふう
1:10:31	気はしてるんで、
1:10:33	はい。
1:10:34	タケノ徳田整合じゃなくてシオヤちょっと言っている再現できていると。書くとなればそんな表現ってなるほど。はい。それでいいですか。はい。小路さん。これは何だっけ。
1:10:48	ところも、ここでは、
1:10:50	小さいっていうのはどうでもいいんだよね。うん。この時点で、うん。
1:10:56	ね。それはね。
1:10:57	ぴったり一致するっていうことがあるんじゃないかと、細かく見れば大きいところがあるし、実際ところもあるんだけど、全体としてこれは今見てるんじゃないの。うん。はい。
1:11:13	だから、一定程度、この原燃の一番というのを、このぐらいの地震発生の程度であれば、

1:11:22	モデリングできますと、
1:11:25	そういうことなんだよね。はい。
1:11:29	刀禰。はい。
1:11:33	神野でございます。前野のリビングできますっていうのが、
1:11:39	結局、地震観測記録がそれなり、要するに診察っていうのは正しい結果を産んでいるし、
1:11:47	結果的に、表層のところはかなり増幅があるというのは、これ現実的にあるんだと。
1:11:56	うん。
1:11:58	この先のポイントで、
1:12:01	ただし、中央でも、
1:12:03	今回は地震計がついてるウチヤマだったんですけど、実はメイドなんだよね、基本。そうすると、現実はこうじゃなくて、
1:12:14	増幅し、
1:12:16	周辺を増幅するわけじゃない。だから、こういうことを最終的にどう最終的に、
1:12:22	モデルに組み込んでいくなっていう、そういうところになるんじゃないか。はい。
1:12:41	重野でございます。ちょっとここについても舟木データアナリスト。
1:12:46	言ったところだとは思いますが、そういう大きい小さいの話じゃなくて、これをよく姫とできてると、ミナミるかどうかを書くのが関の山っていうところになるという。
1:13:00	はい。
1:13:02	すいません。
1:13:04	はい。
1:13:05	いや、だから目的
1:13:07	は、
1:13:09	ちゃんとしてない。
1:13:11	結論が何かね。うん、変なんですね。急いで結論を出すっていうのは、
1:13:18	目的とまた変わってくるんじゃないかと。はい。
1:13:22	いうふうに思って現在の目的はどこに関係ある感じ。そう。
1:13:27	そこはデータを並べてという、そういうご趣旨はもう我々も理解してるつもりなので、ここ並べようと思いますし先ほどおっしゃっていただいたように、

1:13:38	このシミュレーション解析結果ですねこれこれだけではなくっていうことで衛藤ウタ新谷も 08 では、提示させていただいてますけども、だからちょっとここにはこんな形でパワーポイントにつきまして、どうでしょうか。
1:13:54	作っている。はい。いや、これが当日そのまま出るんだったらいいけども、横に積みます。
1:14:04	はい。
1:14:06	規制庁、衛藤そうするとパワポの資料とは別に、
1:14:10	うん。十分違う、例えば 08 期も前回もう一緒 2 杯オダイシイマイんじゃない。前回ですね、パワーポイントと大したと 08 を分けるべしというご指導をいただいてもかかわらずちょっと言いたいもんでちょっとお出ししてしまったという心配はあったんですけども、
1:14:28	ちゃんと外の人ね、はい。
1:14:31	もう、
1:14:33	見える。これだけで判断したのかってことでは決してないわけよ。判断が元がやったってということではないから、ちゃんと必要なものはっていう、
1:14:44	それはあくまで、ここは事例。
1:14:48	結果の例でしかない。
1:14:51	ですねここなので、今回の減衰については、はい。みんなそんなデータがありますが、ここは会合にお出しするべきもんだというふうに思ってます。はい。
1:15:03	本当はベップで、
1:15:06	どうやって、うん。
1:15:08	ぜ、完新統の図 8 の最新版をまた介護、
1:15:12	資料くっつける。
1:15:14	くっつけるかまアノ分、くっつけ、あれはあの会合の場にお出しすべきものなのかなというふうには思っておりました。進捗があんまりないですよ。うん。そうですねはい。
1:15:28	タイプ。そうですねはい。だから外から見ると、なんなんだっけ。ないです。はい。そう。そういう意味では先ほど橋場先ほど、
1:15:43	カネオカイケダ先ほどもいろいろデータを参考につけるという話もありましたので、こういうのも、別にされてるはずもあるんでしょうけども、審査会合の場で議論になるのはわかってるんであれば、参考で、

1:15:54	何枚か紹介した方がより、だから、すべてのデータは何だっけ、まだまだ今後、今後だったら、
1:16:06	今後も私は行きますので、別に毎回毎回出す必要はなくて、今後また全部出揃ったときとか、はい。
1:16:13	その話が進展するときにつけなきゃいけないんで、正しく正しさデータをちゃんと探すことと、
1:16:21	いう気がしました。0 つけないんであればデータをすべて個つけてということでは一部でしかない。
1:16:33	なんかどっかで、他のやつはサンプル承認参照。
1:16:37	断層 1 ミヤジマ。
1:16:40	それはもうこの地震数、今日も一緒に、1 個か 2 個は乗せるですけども、すべての世帯すべても載せられないぐらいの専門の代表になるんですけども、大丈夫。
1:16:52	浦野瀬野さん、黒沢稲井。
1:16:55	恩田になってる。
1:16:59	はい、じゃあ規制庁ですけど、あと 12 ページまでなければいけないですか。
1:17:05	なければ 13 ページ。
1:17:08	既設アオキです 13 ページに関しては先ほど冒頭にありましたように、8 Kが東西中央はですね、ニシノということだと自分の
1:17:19	ちょうどベースのケースがさ。はい。大丈夫なんだよね。はい。もう 1 回最近になっちゃうけど。はい。うん。いや、多分言葉だけになっちゃうから、お任せするけどっていう。
1:17:32	西はいいですか。
1:17:35	一応、
1:17:36	多分さっきのとこ行って、一緒に出ちゃうから冒頭に新川ヒガシの結果っていうことで、ポイントはこの辺だよね。最後使いませんでしたっていう理由を並べるけれども、
1:17:48	その理由と絵が一緒にあった方が、はい。
1:17:51	いいとすると、こいつはこいつ、これはこれであってもいいんじゃないかなとは思いますが。2 度計算になっちゃうけれども、
1:18:00	1 枚で完結するとすれば、うん。それはいいかなと。途中ちよつといらないのがあるけど、言葉で、
1:18:07	規制庁江崎です。途中という話になる。三つ目の矢羽根のところですね。

1:18:13	はい。定期的にこれは別に、ここはもうあそこに入るといこと。はい。
1:18:23	常時ですね。はい。浦野。16 ページ、お願いします。
1:18:31	そんなところは。はい。
1:18:34	そう。
1:18:35	一井さんの技術 13 ページ他に、
1:18:38	情報から見て、
1:18:40	規制庁のキシノです。
1:18:42	これもちょっと表現的なものですが、まず 1 ポツ目の文章で、
1:18:47	その揭示特性を概ね保ったままという説明があるんですけど、
1:18:51	これ右側のハ系の、
1:18:54	どの部分、こういった特徴をこの揭示特性ということが聞こえているのか、具体的に説明できますか。
1:19:01	原因のことでございます。ここで言っているのは、中央地盤のこの時刻歴はの、顔つきがこのですね概ねこのオカオオツカニツタ同じような形で浮き上がっているということオギ特性って言ってますすいません。はい。
1:19:21	はい。その顔つきとは具体的に何を指すのかということです。現在のデータを今回ちゃんとみた結果、今回説明するので、時刻歴は系の派遣形状なのか、最大深刻な
1:19:35	うん。継続時間なのかといった説明は、何らかできると思うんですねこういった観点で中央では保ってるけど、東側で崩れてるのは、
1:19:46	何も判断してるかっていうのが、わかったほうがいいと思うんですがそれは具体的には説明できますかという質問。
1:19:53	ない。
1:19:56	元ノモトでございます。はい。ちょっと正しいやったらそうですね。
1:20:02	ですけどアバウトなあちよつとこの言ってしまうというのは、
1:20:08	逆にその西ヒガシがちゃんとした形状が伝わっていないというぐらいの見方はできるんじゃないかと、中央が正しいというよりは、
1:20:19	さっき、次の、
1:20:22	激しいとね、それはこれの前のところでちょっと話してない。
1:20:30	は任せます。
1:20:32	なかなか厳密な表現が難しいということであればですね、筧の形状はとかちよつとぼやかして、地表地盤だと、深部から表層に至って、
1:20:43	概ね同等の形状になっているけれども、東側だったら表層で形状が大きく変化しているとか、ちょっと別にいいまでもあるかなと思うんですが、

1:20:53	そういった形で伝わりやすい説明っていうことにしていただければどうか なと思うんですけど、いかがですか。
1:21:01	特性のある増しぐらいで、
1:21:05	今、宇井な特異な増幅特性ですから、中央
1:21:09	割と素直に、
1:21:12	うん。
1:21:12	そうですけど。はい。このヒガシっていうのはちょっと、
1:21:17	中を違って、極端な挙動が心配。
1:21:27	伊丹のこと言えば、はい。
1:21:30	うん。
1:21:33	あんまり、
1:21:34	それもだからさ、これはっきり見たらさね。もう伝わるのかな。うん。う ん。だから、あんまり余計な事言わなくちゃ。
1:21:43	よく言って、時間を減らせてっていうさ。はい。ね。円括弧と絵をつけること によって、字数が減るんだよね。はい。
1:21:52	よっぽどこっちの方が物語ってるわけです。
1:21:58	あとは、冒頭でちょっとそれ、
1:22:05	成長の記述は、私もおっしゃる通りかと思いますので、変に言葉どうしよ うかって悩むんだったら、もうシンプル。
1:22:13	簡単な言葉で書いてしまう方がいいかと思いますんで、その方向で検 討いただければと。
1:22:19	はい。現状でございます。はい、わかりました。ちょっと記載をですね少 し精査させていただきます。
1:22:28	はい。規制庁の内野です。あともう1点なんですけど、文書の中歩道です と、表層地盤、それは、
1:22:38	いえ、ヒガシは厚いっていう説明があるんですが、右下の図を見ると、 表層に該当するところが緑があって、強調されて明示はされてるん ですけども、
1:22:50	結局ログスケールって、折り込みの精度が、
1:22:53	進度の欄にGL前ですねという、何となく書いてあるんですが、これが出 さして
1:23:00	ないんで、もうちょっと正確にという意味では、例えばこの技師の宇津の 中央の部分については、表層地盤下端、つまり六ヶ所層の方のGLが 幾つなの。

1:23:12	うん。右側の東側地盤で言えば、無理だ層の方がGL幾つなのかっていうのも、明記していただいた方が良い。
1:23:21	わかりやすいのかなと思うんですが、そういった対応って感じですか。
1:23:24	はい。丹金の方でございます。はいそれは記載できると思いますので対応いたします。
1:23:30	はい。
1:23:32	はい。私から以上です。規制庁三島です。
1:23:35	はい規制庁です。
1:23:37	13 ページまでよろしいですか。よろしかったら次、14 ページ。
1:23:44	これは削除いたします。ホームページはさ。はい。はい。
1:23:49	それでは、次、10 ページ。
1:23:52	規制庁わからないですか。
1:23:59	規制庁丸井です。先ほど会合時点のという話があったんでハタ粹は、
1:24:06	次の右側にふやした方がいいだろうと思いますが、
1:24:09	あ、そうですね、13 日ですから、19 番、承知いたしました。イセです。
1:24:16	はい。13、15 ページまで。なければ、16 ページ、追加調査に入りますけれども、
1:24:27	15、16、あ、ごめんなさい。
1:24:30	1067
1:24:32	まとめて、規制庁側からコメントありますか、指摘ありますか。
1:24:41	特にないですか規制庁ハタケそしたらですね、17 ページ、変わる 596 項のサンプルが出てるんですけども、
1:24:51	上の 16 ページのR596 って多分レンドPⅡ-Aのところかな、多分ここだと思うんでちょっとここ、
1:25:00	もう少しわかりやすくですねこの結果ですということもわかりやすく表示の方をお願いします。
1:25:07	はい。検討ございます。はい。ここのあれですね、この結構ですよ。ここでこれはこれですねというのが、前の図のどれに相当するかというのがわかりやすいようにということでは承知いたしました。
1:25:26	はい、規制庁、尾関です。
1:25:28	あともう 1 点、もう少しちょっと説明、精度を上げるというかですね、わかりやすくということで 17 ページの左側のポンチ絵ですね。
1:25:37	吸収測定、これ、大体は 100 メートルでしたっけ、深さの場合は、大体何メートル、うん。

1:25:45	はい。当然設計のものでございます。深沢ですね。今 125 メーターが ございます。15 メーター掛ける 8 本でございます。はい。
1:25:55	規制庁の真鍋です。ちょっとその情報を、
1:25:58	入れておいてください。
1:26:01	それと同じものでございます。記載させていただいて、それと、図の 4 と これ速報ということなんですけど縦軸チャンネルになってるんですけど、
1:26:12	これ深さって取ればいいんですよ。
1:26:16	当然関野でございます。土佐さんチャンネルごとにですね、左側の鶴志 垣城野計器でございますがそれ 3 チャンネルごとに、8 個入ってますの で、24 個。
1:26:27	ということでここに書かしてございましていただいております。尾野さん だからこれは上から下までこれ、深さの情報がこう見える状態になっ てるっていうですね、
1:26:39	これだけのものでございます。深さ方向ですが、3 本ずつ同じ深さにな る。
1:26:44	はい。
1:26:45	江田大関です。要は上が非常に近くて、下は高いと、こういうことがわか ればいいんで、ちょっと表示の方をお願いします。深瀬。
1:26:55	配当設計のものでございます。ポンチ絵と合わせてわかるように、書か せていただきます。
1:27:00	いや、ほとんどですけども、
1:27:05	はい、北崎です。他に 17 ページまで、規制庁が行う。
1:27:10	コメントありますか。
1:27:13	特にはないですか。なければ最後、18 ページ。
1:27:20	今後の対応。
1:27:22	今後の話はさ、今さ、計画通り、
1:27:26	うん。
1:27:27	前のことでございます。ですね。
1:27:30	大枠は、計画通りに近いとは思っています。もともとの東側西側がで すねてこずるかもしれないというのも、もともと予定の家ではあったの で、
1:27:44	そういう意味では思う枠を、何、何ですかねはみ出して遅れてるという 状態ではないと思います。はい。うん。うん。
1:27:55	頑張っていたいただいたので、おっしゃっていただいて結構です。
1:28:01	はい。はい。ありがとう。

1:28:03	いや別に送ってもいい。
1:28:05	大丈夫。今大木。
1:28:08	スケジュールですか。いいですか。はい。イエスでございます。
1:28:14	はい。規制庁山崎です。そしたら 18 ページ 19 ページまで、'クドウニイツァツジウエダは、18 ページは、
1:28:26	西側はまた次
1:28:29	追加はやって、
1:28:34	③番、書いてあるのは、減衰と表層厚が、
1:28:42	00 の結果もありますと、そういうことです。
1:28:48	年内をめどにデータを取得って書いてあるから、
1:28:53	その取得で、
1:28:56	年明け 03 本ある、それとも追っかけやりますと。
1:29:03	を追っかけ年明けにかけてやります。
1:29:05	ですね。はい。その書き方の平仄が合っていないんですよ。②までは何か。
1:29:12	いつまでやりますと、③の所ですね。はい、元の方でございます。ちょっと、年明け以降、
1:29:22	やりますのがちょっと事前に言いにくかったんでちょっと考えてなかっただけなんですけれども。
1:29:27	はい。
1:29:29	工程表書いてるんですよ。
1:29:32	15 ページは入ってない。
1:29:35	15 ページには 0 難波ニシタニのところは書いては実はおります。
1:29:46	はい。
1:29:52	どうも。
1:29:53	はい、どうぞ。
1:29:56	市が通になるんだろうなとは思ってるんですけれども、出張して、
1:30:07	正しいの計画を示す、全部計画、計画のこれ一部しか示していないってことを、
1:30:15	いや、進められてると。
1:30:19	さあ、
1:30:21	このぐらい。
1:30:22	移動したというのは、これはデータ取得して、到着になるんですよ。なるほどね。うん、これ言っちゃったもんね。

1:30:30	僕さっき言っちゃった。うん。
1:30:33	ね。年明け目途に、
1:30:37	年明け。
1:30:39	年明けっていうともう1月、1月、
1:30:46	水、
1:30:47	④番、もう地盤モデルの確定っていうのが、我々との関係でどうかはあれですけど、何か年明け1月ぐらいに、データを並べてこれぐらいいけますよって言われるのかなと思うんですよ。
1:31:02	だからそれに対して丸さんだ一年代別にデータ取得してから始めちゃうと、もうなんか、
1:31:09	清野破綻しちゃってるから、途中で進めるんだったら途中で、順次、
1:31:15	進めるとか遅れるなら遅れているんですけど、
1:31:20	何か途中で歯切れが悪い。
1:31:24	検討としては③と④はある意味実態といいますかどういふふうにやっていくのかなということも思いますので、
1:31:33	10304をまとめてで、
1:31:36	年明けめんど。
1:31:39	ということなの。
1:31:41	かなということちょっと記載を、
1:31:44	検討させていただきます。
1:31:46	あと、規制庁カミデ04も、モデルの例でいきます。
1:31:51	それから計算をしますっていうのを分けても、
1:31:54	とは思いつつ、今までの原燃の対応だと、
1:32:00	結果が出るまで説明しませんから、④は分割せずに、ていうか、モデルができちゃえば入力地震動もうすぐできますよってことです。うん。はい。はい。
1:32:13	はい。
1:32:14	あと⑤番、徐議員の検討試設計の反映停止中は経産省をどう思うんだよね。そうですね。はい。現状でございます。としては書いてない。そう。
1:32:31	別に話聞けないこともないですけどいつ頃から話したってことは、
1:32:36	人間の方でございます今あれですね、いつ頃って、ご提示してない状態でございます今ちょっと、
1:32:42	しなくてもいい。

1:32:44	はい。はい。
1:32:46	だってさ、使えるときに使ってもいい。
1:32:50	うん。
1:32:51	うん。
1:32:52	使えるんだったら別に使ってもいいし、駄目だもう全部やり直し。うん。
1:32:57	それだ形だから。うん。ぐらいだから。
1:33:00	審査会合の話かどうかということですよ。もちろん審査会合では、そういう話はするけれども、
1:33:08	何かそこで大きく、
1:33:10	変わっちゃうってことはなくて、
1:33:15	だから、
1:33:16	そうですね、はい。
1:33:17	谷中では当然、やり直す。どこ、どんだけやり直さないといけないという見積もりをしないといけないわけだからね。
1:33:26	それ当然いるんだけど、そういうのをひっくるめて1月に全部説明することになるんじゃないのと。
1:33:35	それで、
1:33:36	いろんな工程、
1:33:38	皆さんがこう言ってるのね、社長はまだ諦めてないような、ああいうものが、
1:33:47	ちゃんと見積もれるね、一定程度の。
1:33:50	何て言うのかなその時点で何か類型化が別ので今動いてるもの。
1:33:56	ていうのもそういう時期には、
1:33:59	進んできたりして、総合的に判断するそれ根拠を持って、ある程度の見通し、の工程がその時点で初めて引けるんじゃないか。
1:34:11	その時には比較的ね、そうそういうものを、ある程度の数、精度を持って示してもらってというのがその時期にあると思ってるんですね。
1:34:21	それが1月とか2月とか、
1:34:26	多分、書かれてあるんでしょうかね。
1:34:31	当時の話じゃなくてね。なるほど。そういうことでそれまでやっぱり年かかってないんじゃない。それはスポンサーになっております。
1:34:43	それまで、
1:34:45	そんな工程の話はしないと。
1:34:51	はい。秋月。

1:34:53	5番、徳田出資しなくても、ものができ上がれば計算書としますっていうのは、この話出てくるし、こういうものは生かせるこういうものは、再計算するっていう判断を、会合でやるような、
1:35:08	絶対なくて、その地名なんですよ。ここまではみたいな話出てなくて、そういった技術的な正解とほぼ一つしかないですから、そういう意味だと、わざわざそこでした。
1:35:22	うん。
1:35:24	そっちも何かあるのかもしれないですけども、あんまり
1:35:28	私はないんだと思います。
1:35:32	下に載ってございます。
1:35:34	そうですね。
1:35:36	非常に自明なところはもう自明だということで、ちょっとグレーゾーンなんかもあるかなというところは少し、我々の考えもご説明しながらしないといけないかなとちょっとここの中で思っているところでございます。
1:35:52	無理に書かなくてもいいんじゃないですか。
1:36:02	はい。
1:36:03	はい、課長です。他に、本資料について、
1:36:07	何かなければ振り返りでは、はい。ちょっと簡単にできるかどうかあれなんで逐次でちょっと、
1:36:18	まず6ページ、前回説明の材料等を21ページと平仄が合った形で修正させていただきます。
1:36:27	7ページ目、これは6月20日9月4日以前をまとめる形で以前説明今回説明の説明という形の、
1:36:37	記載に直させていただきます。元江藤シミュレーション解析。
1:36:45	すいません。えっとですね。
1:36:46	ここについては、その応答スペクトルによる検討というふうに書いてますけれども、これは周辺の表解析であるということで、このデータ数による贈呈も
1:36:57	した大きさじゃすいません、致命傷になるということがわかるような記載でということで、江藤をアカシいただきます。
1:37:07	で、ですね、
1:37:09	それからちょっと全般に対してでもあるんですけども、どちらかといえばこの贈呈の方の話ではあるんですけども、全部ですねこの検討がですねどのデータをもとに、

1:37:25	検討していたのかということが、順を追って説明できるようにということで、コメントいただいておりますのでこれはP対応させていただきたいと思います。
1:37:34	江藤 10 ページ目ですけれども、
1:37:40	ここはその前のページもですね含めて全体の構成といたしまして、まず地盤の特性、観測記録のですね、
1:37:51	すいません観測記録の中央にヒガシのまず記録を、まず定義して、この記録を見た時に、このオオニシヒガシの特異な状況を踏まえて、この記録が
1:38:07	正しいのかということの検討ということで地震計なり準備なりで、適切であるかということを検討を行ったということをまず冒頭に述べさせていただいて、その次に、このですね、
1:38:19	記録に基づいてそしたら、この地質図を見ながら、この起点での特性がどうであるかと、ということの、
1:38:30	分析なり、我々見解というのを、また次述べて、それを踏まえた上で、伝達関数なり干渉法なりの結果を、このようにを検討いたしましたという結果をつなげるとちょっとそういうふうな、
1:38:44	形での構成に変えさせていただくということでございます。
1:38:52	で、ということでですね西側 2 番についても、このですね地質等も付ける形で分析も今回記載するという形で、これは修正させていただくと。
1:39:07	ということかというふうに考えてございます。
1:39:10	それから図 6 のですね、速度構造これは、現在の所キーの速度構造を記載しますけどもこれ見直し後のものも、追求するというに、
1:39:22	対応いたします。
1:39:24	で、それから、11 ページですね、この減衰定数の検討結果図 8 でございますけれども、10 秒をできてるけれどもこの適用範囲について、
1:39:38	の考察をちゃんと記載することと、ということでいただいております。
1:39:43	で、それから図 11 のですね、すいません。
1:39:50	図。
1:39:52	そうなんです。ごめんなさい。図 7 の伝達関数の、これが合っているかっていないのかといったところを少し、
1:40:02	このオオキサイをですね、今、この文章で書いてるところが、なかなかちょっと、何が何合っていないというのでどう考えてるかというのがちゃんとわかるようにということでこれ、記載を適切に見直すことと。
1:40:16	ということをいただいておりますので、これ、対応いたします。

1:40:20	それから電力監査については深さ方向も埋めたのを、こういうデータを出してここ、この後にですね、データをつける形で逆に足しても08はつけないと。
1:40:32	原発の対応させていただくということでこれ地震記録ですとかシミュレーション結果も同じでございます。
1:40:41	当庫のですね、領域ベン図度にファイルにあっての比較についての、この比較のですね、大きいとか小さいとかいうているこの大井、
1:40:54	基本はですね、これも計算を並べてから考えることなんでこれは消すということでございます。
1:41:00	で、図12の方もこれも考察に相当するですね一定件数が大きい傾向だというな考察は、一旦ここでは消していくと。
1:41:12	いうところかというふうに理解いたしました。それから記載として整合というんじゃなくてちゃんとシメリットできるとか制限できるとか、そういう形も整えるべきと。
1:41:23	いうことでいただいているところでございます。ここも大きい小さいではなく、ちゃんと再現できている、シミュレーションできているモデルもできているといったような、
1:41:33	そういうマインドでの記載とするということでございます。
1:41:39	で、13ページ目でございますけれども、このためにはもう観測のビジョンの話は前面で全然前段で言うておりますんでここは抜かして削除すると。
1:41:51	いうことでございます。それから今ですね、その揭示特性といったようなちょっとおわかりの言葉になってますのでここ、シンプルにちょっとわかりやすくということで、特異な増幅特性とかが見られないとか一言でわかるような言葉にと。
1:42:07	いうことでちょっと言葉を工夫させていただきます。
1:42:11	それから表層のですね、図中の表層の方のGL幾つかという数字をちゃんと明記することというふうにいただいているところでございます。
1:42:21	次14ページは削除いたします。江藤15ページ目ですけれども赤枠はずらします。17ページ目ですけれども、
1:42:32	ですねこの結果がですね16ページの、その観測孔のですねどの観測かがわかるように、ちょっとわかりやすい、対応がわかるように記載をとということでございます。
1:42:48	それから17ページの左のポンチ絵深さの概念を、対応がわかるように入れることということでやっていただいております。

1:42:56	それから 18 ページ目はですね、③以降の検討これこの②まで年内めど以降の対応になるわけですけれども、
1:43:06	実態と開けということになるんですけどもこの記載はちょっと持ち帰らせていただいて、我々社内で検討させていただきます。以上でございます。
1:43:18	はい。竹島のフジカワに対して、
1:43:21	規制庁他ありますか。
1:43:25	10 ページのところの 16、今、
1:43:30	終わった結果のところはどうってということなんですけどただ結果はってこうでしたっていうだけでも、
1:43:42	もう、
1:43:43	具合にもよる。
1:43:45	そうですね。ほとんど一緒ぐらいなんだなっていう場合もあれば、あれなんかこれ結構いじったんだねっていう場合もあるじゃないですか。そういう場合はこういう考えで
1:43:56	こういう範囲範囲内、当然合えば何でもいいわけじゃなくて、動きがあってその間に認められる範囲があってその中でシミュレーションしたんだよっていうところを、ちゃんとわかるように書いておられると思います。
1:44:09	はい。全員の方でございます。アレスそうですね。見直した後というのが、またこの基礎構造図とも見比べた形でこれは
1:44:20	ちゃんと物をちょっとSIMULATEますか表している、阪急内の、よく説明できる範疇内のもの内数なんであるかどうかというところの、記載は必要だと思いますんでここ、ちゃんとそこんところの説明も、
1:44:36	入れさせていただこうと思います。以上でございます。
1:44:39	規制庁、よろしく申し上げます。私からは、とりあえず、
1:44:44	はい。規制庁、小貫です。そしたら、この資料について、
1:44:47	になつてれば、
1:44:49	あとはイセスケジュールは、
1:44:52	午前中の会合所って言っていましたっけ。
1:44:56	これ全部合わせてですね次金曜に提出させていただいて、そのヒアリングを今、水曜日、さっき、
1:45:07	10 月の 11 日に、今 11 日の午前中に、今ヒアリングを入れさせていただいている状態でございます。
1:45:18	はい、規制庁川満わかりました。
1:45:21	はい。6 日は、逆にこれの補足の

1:45:24	拾いますね。そうですね。はい。
1:45:29	はい。
1:45:33	いいっすか。よろしいですかね。はい。
1:45:36	はい。思います。どうもありがとうございました。